

前者ニ對シテ所持人タルノ權利ヲ取得スヘキヤハ亦拒絕證書ヲ以テ決定スヘキ事項タリ(第五百十三條)

所持人カ豫備支拂人又ハ參加引受人ノ參加ヲ得サルノ事實ハ之ヲ拒絕證書ニ記載セシメサルヘカラス(第四百八十條第二項第五百條第二項第五百八條第二項)豫備支拂人アル場合ニ於テ所持人ハ其參加引受ヲ求メ之ヲ得サルトキニ非サレハ前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルヲ得ス(第五百條第一項)又豫備支拂人又ハ參加引受人アル場合ニハ前者ニ對シ償還請求ヲ爲スニ先チテ其參加支拂ヲ求メサルヘカラス(第五百八條第一項)其細目ハ後ニ説明スヘシト雖モ豫備支拂人及ヒ參加引受人カ參加ヲ爲サルノ事實アリテ始メテ前者ニ對シ遡求權ヲ行フヲ本則トスルモノニシテ其事實ハ唯拒絕證書ヲ以テ證明スルヲ得ルハ我手形法ノ原則ナリ(第五百條第二項第五百四條第一項)參加支拂ナルトキハ之ヲ引受拒絕證書ニ記載セシメ

書ニ記載セシムルナリ(第五百條第二項第五百十二條)

被參加人

破産ノ宣告ヲ受ケタル引受人ノ爲メ振出人ノ爲メ振入ルニ參加スルヲ得ルヤ

第三 被參加人

擔保義務ヲ負擔スル者ハ被參加人タルヲ得爲替手形ノ振出人裏書人及ヒ約束手形ノ裏書人即チ然リ引受人又ハ約束手形ノ振出人カ破産ノ宣告ヲ受ケテ擔保ヲ供セサル場合ニ於テ被參加人タルヲ得ルヤ否ヤニ付テハ獨國學者ノ所說同シカラス余ハ我商法ノ規定ニ付テ參加引受ト參加支拂トヲ區別セサルヘカラスト信ス引受ヲ爲シタル者ノ爲メニ參加引受アルノ理ナキナリ參加支拂ニ付テハ豫備支拂人ニ非ス參加引受人ニ非サル者カ參加支拂ヲ爲スニ當タリ何人ノ爲メニ之ヲ爲スカヲ示ササルトキハ支拂人ノ爲メニシタルモノト看做ス(第五百十一條)ハ最も多數ノ者ヲシテ其債務ヲ免レシムルノ趣意ニ外ナラスシテ引受人ノ爲メニスル參加支拂ヲ排スルニハ非サルナリ而カモ參加支拂人ハ引受人ニ對シテ所持人タルノ權利ヲ取得スルノ利アルナリ償還義務ノ存否ヲ以テ此問題ヲ決スヘカラサルハ支拂人ノ爲メニスル參加

參加人

支拂ヲ認ムルニ照ラシテ爭フヘカラサル所ナリトス

第四 參加人 手形上ノ債務ヲ負擔セサル者カ參加人タルヲ得ルハ論ナ

ク又其參加ヲ以テ通例トス支拂人ハ引受ヲ拒絕シテ更ニ振出人又ハ裏書人ノ爲メニ參加スルヲ得

爲替手形ノ振出人

一 爲替手形ノ振出人ハ後者ノ爲メニ參加引受ヲ爲スヲ得振出人ハ擔保義務者ナルカ故ニ其參加引受ハ所持人ヲ利スル所ナク從テ之ヲ受諾セサルヘシト雖モ亦被參加人ヲシテ擔保ヲ供スルノ義務ヲ免レシム唯振出人トシテ被參加人及ヒ自己ノ後者ノ請求ニ應シテ擔保ヲ供セサルヘカラス又後者ノ爲メニ參加支拂ヲ爲スヲ得然レトモ一方ニ於テ振出人トシテ償還義務ヲ負擔スルカ故ニ自ラ其後者ニ對シテ權利ヲ行フ能ハス唯引受人ニ對シテ權利ヲ有スルニ過キサルナリ(adv. Grünhut II § 136 s. 523)

裏書人

二 裏書人ハ其前者ノ爲メ又後者ノ爲メニ參加ヲ爲スヲ得後者ノ爲メ

引受人約束手形ノ振出人

ニシタル場合ニ於テ裏書人トシテ被參加人及ヒ自己ノ後者ニ對シテ擔保ヲ供スルノ義務ヲ免ルル能ハス自己ノ前者ノ爲メニ參加支拂ヲ爲シタルトキハ自己ト被參加人トノ間ニ在ル者ニ對シテハ權利ヲ行フ能ハス後者ノ爲メニ參加支拂ヲ爲シタルトキハ被參加人及ヒ自己ノ後者ニ對シテ權利ヲ行フ能ハスト雖モ自己ノ前者及ヒ引受人ニ對シテ所持人タルノ權利ヲ取得スルヲ得サルノ理ナシ(adv. Grünhut II § 136 s. 524)

三 引受人及ヒ約束手形ノ振出人ハ主タル債務者ニシテ其支拂ハ手形上ノ法律關係ノ消滅ヲ目的トセサルヘカラサルノミナラス參加支拂ヲ爲シタル後ニ於テ自ラ權利ヲ行フノ對手ナキヲ以テ參加ヲ爲スノ法律上ノ理由ナキナリ

第二節 豫備支拂人

手形ノ引受若クハ支拂ヲ爲スヘキ第一位ニ在ル者カ其引受若クハ支拂ヲ

各論 爲替手形約束手形 參加 豫備支拂人

豫備支拂人
記載ノ要

爲サス又ハ主タル債務者破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ手形ニ他人ヲ指定シ第二位ニ引受若クハ支拂ヲ爲スヘキヲ委託スルコトアリ此委託 (Notarresser, an bessein, reference in case of need, case of need) ヲ受クル者ヲ稱シテ豫備支拂人 (Notadressat, un bessein, le recommandataire, referre in case of need) ト云フ蓋シ爲替手形ノ振出人及ヒ裏書人ハ各引受及ヒ支拂アルヘキヲ擔保スト雖モ支拂人トシテ指定セラレタル者ハ固ヨリ支拂人タル資格ニ於テ引受若クハ支拂ヲ爲スノ債務ヲ負擔セサルノミナラス縦令引受ヲ爲シタル後ト雖モ故意若クハ過失ニ因リ又ハ破産ノ宣告其他資産缺乏ノ故ヲ以テ支拂ヲ爲ササルコトアルヘシ此場合ニ於テ擔保義務者カ一ハ自己ノ負擔ヲ輕減シ一ハ商業上ノ信用ヲ保維スル目的ヲ以テ豫メ其急ニ應スルノ手段ヲ講スルハ最モ穩當ノ措置ト云フヘキナリ豫備支拂人ノ指定ハ即チ此趣意ニ基ク

豫備支拂人ノ制度ハ爲替手形ニ行ハルヘキハ我商法ノ明定スル所ナリ而

約束手形ニ
モ豫備支拂
人アリ

シテ約束手形ニ第四百五十八條ヲ準用セサルカ故ニ約束手形ノ裏書人ハ豫備支拂人ヲ記載スルヲ得サルカ如キ觀アリト雖モ其記載アル場合ニ關スル第五百八條ヲ準用セルヲ以テ余ハ約束手形ニモ豫備支拂人アリト解釋セント欲ス此二條ハ相牽連シ第四百五十八條ハ本ニシテ第五百八條ハ末ナリ余ノ解釋ハ法文ノ上ヨリ論スルトキハ末ヲ以テ本ヲ推スノ嫌ナキニ非サルヘシ然レトモ理ニ於テ約束手形ノ裏書人ニ豫備支拂人ノ記載ヲ禁スルノ謂ハレナク殊ニ豫備支拂人ヲ認メサレハ第五百八條ノ準用ハ全ク無意義ニ終ランノミ唯第四百五十八條ヲ準用セサリシハ我商法ノ不備ト説明スルノ外アルヘカラス

一 豫備支拂人ハ之ヲ手形ニ記載セサルヘカラス我商法ハ振出人ノ指定タルト裏書人ノ指定タルトヲ問ハス手形ニ記載スヘキヲ定ム(第四百四十八條、第四百五十八條)故ニ補箋若クハ謄本ニ之ヲ記載スルヲ得ルヤ否ヤハ疑問タルヘシト雖モ裏書人ニ之カ記載ヲ許ス以上ハ裏書ヲ爲スモ

豫備支拂人
ハ手形ニ指
定スルヲ要

各論 爲替手形約束手形 參加 豫備支拂人

豫備支拂人
ハ支拂地ニ
在ルヲ要ス

ノニ之ヲ許ササルノ理ナカルヘシ殊ニ原本ヲ支拂人ニ送付シ贖本ヲ以テ裏書ヲ爲ストキハ豫備支拂人ハ贖本ニ指定スルノ外途ナキナリ

二 豫備支拂人ハ手形ノ支拂地ニ在ラサルヘカラス(第四百四十八條、第四百五十八條)此點ニ於テハ我商法ハ獨國手形法ト其主義ヲ一ニス而シテ斯ノ如ク定メタルハ指定者カ隨意ニ地ヲ指定シ所持人カ擔保請求權及ヒ償還請求權ノ行使ニ付キ常ニ豫備支拂人ノ參加引受若クハ參加支拂ヲ求ムルハ(第五百條第一項、第五百八條第一項)容易ナラサル負擔ニシテ而カモ支拂拒絕證書作成ノ期間内ニ參加支拂ヲ求ムルノ必要アリ(第五百八條第一項第三項)且支拂地ヲ一定セシムルノ趣意ニ反スレハナリ指定者支拂地以外ノ地ヲ記載シタルトキハ豫備支拂人ノ指定トシテハ法律上ノ效力ナク所持人之ヲ顧ミスシテ可ナリ又特ニ地ヲ記載セサルトキハ支拂地ニ在ルモノト看做シ所持人ハ此地ニ於テ參加引受若クハ參加支拂ヲ求ムルヲ試ムルヲ以テ足ル

豫備支拂人
ノ指定者

三 豫備支拂人ヲ指定スルヲ得ル者ハ擔保義務者タルヘキハ參加ノ遡求權行使ヲ阻止スル目的ヨリ論シテ之ヲ當然トス爲替手形ノ振出人裏書人約束手形ノ裏書人即チ然リ然レトモ振出人ハ指定セサルヲ常トス何トナレハ順當ノ引受若クハ支拂アラサルヘキヲ危懼シ支拂人ニ信用ヲ措カサルヲ表白スレハナリ裏書人ト雖モ手形上ノ責任ヲ負ハサル者ハ豫備支拂人ヲ指定スルヲ得ス擔保義務ナキ者ノ爲メニスル參加ハ參加ノ觀念ニ反ス故ニ亦所持人保全行爲ヲ爲サスシテ手形上ノ權利ヲ喪失シタル後ハ參加ハ其效力ヲ生セス

引受人及ヒ約束手形ノ振出人ハ主タル債務者トシテ自ラ支拂ノ義務ヲ負擔スル者ニシテ從テ豫備支拂人ヲ指定スルヲ得ス支拂擔當者ノ記載アル他地拂手形ノ引受人カ指定ヲ爲スヲ得ルハ否ヤニ付テハ獨國學者間ニ議論アリ消極論ハレーマン (§ 119 s. 473) グリフンノート (II § 133 s. 465) スタウソフ (zu Art. 56 § 4) ヴルンスタイン (zu Art. 56 § 1, 1, b) s. 233) ノ執

豫備支拂人
タルヲ得ル
者

ル所ニシテ積極論ハデルンブルグ(B. R. II § 275 s. 311) ローバイン(zu Art. 56 ff. Ann. 3) ヴォテル (§ 97 s. 409) 等之ヲ唱フ是主トシテ此引受人ノ償還義務者ナルヤ否ヤノ問題ト牽連スト雖モ我商法ハ指定者ヲ限定シ(第四百四十八條、第四百五十八條)引受人ニ及ハス故ニ消極論ヲ可トス

四 豫備支拂人タルヲ得ル者ハ手形上ノ法律關係ニ立タサル第三者ノミナラス振出人又ハ裏書人モ亦然リ即チ自己ニ豫備ノ委託ヲ爲スヲ得トスルヲ獨國學者ノ定説トス然レトモ我商法ニ於テハ振出人及ヒ裏書人モ亦豫備支拂人タルヲ得ヘシト雖モ自己ノ榮譽ノ爲メニスル參加ヲ認めサルモノト解スヘキカ如シ(第四百四十八條、第四百五十八條)而シテ振出人又ハ裏書人カ其後者ノ爲メニ參加支拂ヲ爲スモ中間ノ者ニ對シテハ第五百十三條ニ定メタル參加支拂人ノ權利ヲ行フヲ得サルナリ

支拂人カ豫備支拂人タルヲ得ルヤ否ヤハ又獨國學者ノ説ヲ異ニスル所ナリグリーンフットハ消極説ヲ主張シ所持人ノ遡求權ハ第一次ニ支拂

豫備支拂人
指定ノ效果

人ニ對スル呈示及ヒ第二次ニ豫備支拂人タル支拂人ニ對スル呈示ヲ條件ト爲スヘカラスト論セリ (II § 133 s. 467) 支拂人豫備支拂人カ同一ナルヲ以テ二回手形ヲ呈示スルハ一見甚タ謂レナキニ似タリト雖モ支拂人ノ引受及ヒ支拂ト豫備支拂人ノ參加引受及ヒ參加支拂トハ其效力ヲ異ニスルモノニシテ參加引受人ハ唯被參加人ノ後者ニ對シテ手形上ノ債務ヲ負擔スルノミ又參加支拂ヲ爲シタルトキハ被參加人及ヒ其前者ニ對スル所持人ノ權利ヲ取得ス(第五百五條、第五百十三條)ルヲ以テ支拂人トシテハ引受支拂ヲ拒絕シ豫備支拂人トシテハ參加ヲ爲スコトアルヘシ余ハ此理由ニ依リテ積極説ヲ是ナリトス (Staub zu Art. 56 § 5, Bernstein § 1, 1, c) s. 233, Darnburg B. R. II § 275 s. 311)

五 豫備支拂人ノ指定有效ナルトキハ所持人ハ先ツ第一位ニ於テ引受若クハ支拂ヲ爲スヘキ者ニ手形ヲ呈示シテ之ヲ求メ之ヲ得サル場合ニ於テ更ニ豫備支拂人ニ對シテ引受支拂ヲ求メ然ル後始メテ前者ニ對スル

各論 爲替手形約束手形 參加 豫備支拂人

遡求權ヲ行フヲ得ルナリ而シテ第一位ニ在ル者ノ拒絶及ヒ豫備支拂人ノ拒絶共ニ拒絶證書ヲ以テ之ヲ證セサルヘカラサル(第五百條、第五百八條)カ故ニ數多ノ豫備支拂人アルトキハ所持人ハ遡求權ノ行使ニ付キ煩雜ナル手續ヲ履行セサルヘカラサルニ至ルナリ然レトモ所持人ハ豫備支拂人ノ記載アルヲ知リテ手形ヲ取得シタルモノニシテ之ヲ度外視スルハ豫備支拂人ノ趣意ニ反シ又指定者カ之ヲシテ參加ヲ爲サシムルカ爲メニ施シタル準備ヲ水泡ニ歸セシムルノ虞アリ

い 擔保請求 擔保請求權ヲ行フト否トハ所持人ノ自由ニ在ルハ屢説明シタルカ如シ然レトモ引受拒絶若クハ引受人ノ破産宣告ヲ理由トシテ前者ニ對シ擔保ヲ請求セント欲セハ先ツ豫備支拂人ノ引受ヲ求めサルヘカラス之ヲ得サル場合ニ於テ始メテ擔保請求權ヲ行フナリ(第四百八十條、第二項、第五百條、第一項)而シテ(一)所持人カ指定者及ヒ其後者ニ對シテ擔保ヲ請求スルニ豫備支拂人ノ引受ノ拒絶ヲ前提トス

ルハ論ナク指定者ノ前者ニ對シテモ亦然ルハ第四百八十條及ヒ第四百五十一條第一項ノ明文ニ照ラシテ疑ヲ容ルヘカラス獨國ノ學者ニシテ反對説ヲ主張スル者ハ曰ク所持人カ豫備支拂人ニ對シテ拒絶證書ヲ作ラシメサルトキハ指定者及ヒ其後者ニ對スル遡求權ヲ失フト余ト同説ナル學者モ概ネ遡求權ノ喪失ヲ論ス然レトモ余ハ皆遡求權行使ノ條件ノ不備ト其喪失トヲ混同スルモノト信ス豫備支拂人ノ參加引受ヲ求めサルカ爲メニ擔保請求權ヲ失フノ理ヲ發見スル能ハス(二)指定者ノ後者ハ豫備支拂人ノ參加引受ヲ以テ十分ナル擔保ト認メサルヘカラサル地位ニ在ルカ故ニ若シ參加引受アリシナラハ擔保請求權ヲ失フヘカリシモノナルヲ以テ(第五百六條、參照)參加引受ヲ求めサル場合ニ於テハ擔保請求權ヲ行フヲ得サルナリ(三)被參加人及ヒ其前者ハ所持人カ參加引受ヲ求めサル場合ニ於テモ擔保ヲ請求スルヲ得ルノ理ナリ何トナレハ參加引受ハ其與リ知ラサル所ニシテ之カ爲メ

ニ擔保請求權ヲ失フヘカラサレハナリ(第五百六條然レトモ拒絕證書ナキノ故ヲ以テ之ヲ行フノ機會ナカルヘシ(第四百七十七條第五百四條)

ろ 償還請求 所持人ハ豫備支拂人ノ參加支拂ヲ求メタル後ニ非サレハ前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スヲ得サルハ第五百八條第一項ノ明定スル所ナリト雖モ參加支拂ヲ求メサル場合ニ於ケル制裁ハ同條第三項ノ規定ニ依リ豫備支拂人ノ指定者及ヒ其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フニ止マル故ニ指定者ノ前者ニ對スル償還請求權ハ依然トシテ存スルモノト云ハサルヘカラス其詳細ニ至リテハ參加支拂ノ下ニ説明スルヲ便トス

第三節 參加引受

參加引受 (Ehrenannahme = accept, Accept per onor, Acceptation par intervention, par honneur, sous protêt, Acceptance for honour, supra protest) トハ支拂ヲ爲スノ第一位

參加引受ノ性質上ノ法律實質

ニ在ル者カ支拂ヲ爲ササル場合ニ於テ之ヲ爲スノ意思ヲ表示スル手形行爲ナリ引受人カ破産ノ宣告ヲ受ケテ擔保ヲ供セサルトキハ所持人ハ擔保ヲ請求スルニ先チテ豫備支拂人ノ參加引受ヲ求メサルヘカラス(第四百八十條)約束手形ノ振出人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ裏書人ノ指定シタル豫備支拂人アルトキハ所持人其參加引受ヲ求ムヘキハ第五百二十九條ニ於テ第四百八十條ヲ約束手形ニ準用シタルニ依リテ明ナリ我商法ハ獨國手形法ト同シク參加引受ニ關スル規定ヲ約束手形ニ準用スルヲ明示セスト雖モ約束手形ニ參加引受ヲ認メサルノ理ナキナリ

一 參加引受ノ法律上ノ性質ハ學者論議ノ問題タリ之ヲ償還義務ト解スル學者ハ參加引受ハ被參加人ノ償還義務ノ引受ナリトシベルンスタイン (zu Art. 60 § 1, 2 s. 340, 311) デルンブルグ (B. R. II § 275 s. 313) ローバイン (zu Art. 60 Anm. 6) カンスタイン (§ 21 s. 313, 314) ゴルディンハイン (System s. 271) 等ニシテ引受ハ一種トスルハテオール (§ 131 s. 331) グリーンフート

各論 爲替手形約束手形 參加 參加引受

(11 S. 133 s. 486-488) スタウプ (St. A. v. G. S. 1) ローザック (S. 55 s. 297) 等ナリ前
 説ノ理由トスル所ハ論者ニ依リテ異ナレリト雖モ大要左ノ諸點ニ在リ
 い 參加引受人ハ唯被參加人ノ後者ニ對シテ責任ヲ負擔スルノミニシ
 テ被參加人及ヒ其前者ニ對シテハ管ニ義務者タラサルノミナラス自
 ラ支拂ヲ爲シタル後ハ權利者タルノ地位ニ在リ
 ろ 參加引受人ノ支拂ハ第一位ニ在ル者ノ支拂ノ如ク手形法上ノ法律
 關係ヲ消滅セシメス參加支拂人ハ被參加人其前者及ヒ引受人ニ對シ
 テ所持人ノ權利ヲ取得ス

は 所持人カ拒絕證書作成ノ期間内ニ參加引受人ニ手形ヲ呈示セサル
 トキハ參加引受人ハ其義務ヲ免ル

に 遡求權行使ノ條件備ハラサレハ參加引受ハ法律上存在ノ理由ナシ
 余ハ引受説ニ贊同セント欲ス我商法ノ規定ニ付テ之ヲ證センカ所持人
 ハ參加引受ニ因リテ絶對ニ擔保請求權ヲ失フ(第五百六條)ノミナラス豫

備支拂人ノ引受ハ所持人之ヲ拒ム能ハス又引受人カ破産ノ宣告ヲ受ケ
 タル場合ニ於テ豫備支拂人引受ヲ爲サス又ハ單純ナル引受ヲ爲ササル
 カ爲メ前者ノ供シタル擔保(第四百八十條第二項)ハ豫備支拂人ノ單純ナ
 ル引受ノ爲メニ其效力ヲ失フ(第四百八十一條第一號)是等ハ參加引受ハ
 其性質引受ニ代ハルノ證ナリ參加引受人ハ獨リ被參加人ノ後者ニ對シ
 テ責任ヲ負擔シ支拂ノ後被參加人及ヒ其前者ニ對シテ權利ヲ行フノ地
 位ヲ取得スルハ參加本來ノ性質ニシテ引受ノ觀念ト兩立スヘカラサル
 ニ非ス而カモ之ヲ以テ被參加人ノ債務ヲ引受クルノ理由トスルハ恰モ
 引受人ハ振出人ノ擔保義務ヲ引受クルモノト論スルカ如シ又滿期日及
 ヒ其後二日內ニ支拂要求ノ呈示ナキトキハ參加引受人カ其義務ヲ免ル
 ルハ他地拂手形ノ引受人カ其義務ヲ免ルルト異ナラス之ヲ要スルニ參
 加引受ハ支拂人ノ引受ト同一ノ擔保ヲ與フルヲ目的トスルモノニシテ
 單ニ引受若クハ支拂ノ文字ノミヲ論據トスルニハ非サルナリ

參加引受ノ
法律上ノ性
質ノ結果ニ
關スル二箇
ノ問題

參加引受ノ法律上ノ性質如何ハ左ノ二箇ノ問題ト牽連スヘシ

い 參加引受人ハ、不當利得償還ノ義務ヲ有スルヤ否ヤ、グロリーンプート
ハ引受ノ一種ナリト解スル論理上ノ結果トシテ特別ノ規定ナキ限り
參加引受人ハ引受人トシテ待遇シ引受人ニ關スル規定ヲ適用スヘキ
モノトシ不當利得ノ償還ハ參加引受人ニ對シテモ之ヲ請求スルヲ得
ルモノト論ス(II § 133 s. 490)ト雖モ余ハ最後ノ義務者ニ非スンハ此請
求ニ應セサルモノナリト信ス參加引受ヲ償還義務ト解スル論者カ消
極說ヲ執ルハ固ヨリ當然ナリトス

ろ 時効期間ハ滿期日ヨリ三年ナルカ將支拂拒絶證書作成ノ日ヨリ六
个月ナルカ(第四百四十三條)ハ一ニ參加引受人ノ債務ノ性質如何ニ依
リテ定マルレーマンハ參加支拂人ニ對スル權利ハ拒絶證書作成期間
ノ經過ニ因リテ消滅スルカ故ニ時効期間ノ如何ヲ論スルノ餘地ナシ
ト云ヘリ (§ 142 s. 374) 是呈示期間ト時効期間トヲ混視スルノ誤ニシ

參加引受ハ
手形行爲ナ
リ

被參加人

參加引受ハ
單純ナルヲ
要ス

テ呈示ハ參加引受人ニ對スル權利保全ノ條件ニシテ此保全行爲ヲ爲
シタル場合ニ於テ時効ノ問題ヲ生セサルヲ得ス

二 參加引受ハ手形行爲ナリ故ニ手形行爲ニ關スル一般ノ原則ニ從フ參
加引受人ハ手形ニ參加引受ノ旨ヲ記載シテ之ニ署名ス(第五百三條第一
項)

三 參加引受ヲ爲ス者ハ何人ノ爲メニスルカヲ指定ス而シテ被參加人ヲ
手形ニ記載セサルトキハ最後ノ義務者タル振出人ノ爲メニシタルモノ
ト看做ス(第五百三條第二項)是法律ノ擬制ニシテ反證ヲ許ササルナリ即
チ參加引受人ハ被參加人タル債務者ヲ有スルノミ(第五百十三條)豫備支
拂人ハ被參加人ヲ定メサルトキト雖モ苟モ參加引受タルノ意分明ナル
トキハ指定者ヲ被參加人ト解スルヲ當然トス (a. A. Grünhut II § 136 s.
520, 521, Staub zu Art. 59 § 3)

四 參加引受ハ單純ナラサルヘカラス手形金額ノ一部ノ引受ハ所持人ヲ

各論 爲替手形約束手形 參加 參加引受

拘束ス(第四百六十九條第一項)ト雖モ參加引受ハ豫備支拂人ニ出ツルト
 否トヲ問ハス所持人ハ之ヲ顧ミスシテ前者ニ對シ擔保ヲ請求スルヲ得
 ルナリ豫備支拂人ニ非サル者ノ參加引受ハ總ヘテ所持人ノ擔保請求權
 ヲ阻止セス又豫備支拂人ノ參加引受ト雖モ手形金額ノ一部ニ止マルト
 キハ支拂人ノ引受ケサル殘部ノ金額ナル場合ノ外所持人之ヲ拒ムノ自
 由ヲ有ス第四百八十一條第二項ニ豫備支拂人カ單純ナル引受ヲ爲ササル
 トキハ所持人ハ擔保ヲ請求スルヲ得ヘキヲ云ヒ從テ第四百八十一條ニ
 於テモ他日豫備支拂人カ單純ナル引受ヲ爲シタルトキニ限リ擔保カ其
 效力ヲ失フヘキヲ定メ又一部ノ參加引受ノ有效ナルヲ明言セス支拂地
 ノ外ニ於テ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載シタル參加引受ハ又理ニ於テ豫備
 支拂人ハ支拂地ニ在ラサルヘカラサルノ原則ニ反ス是等單純ナラサル
 參加引受ハ所持人ヲ拘束セサルノミナラス余ハ全然其效力ヲ否認セン
 ト欲ス(第四百三十九條)故ニ單純ナラサル參加引受モ亦參加引受人ヲ拘

參加引受ノ
 諾否

東スルノ說 (Grimlund II S. 134 s. 185, 500) ハ余ノ執ラサル所ナリ

五 參加引受ハ豫備支拂人ニ於テ之ヲ爲スコトアリ或ハ委託ヲ受ケサル
 者ニ於テ之ヲ爲スコトアリ豫備支拂人ノ參加引受ハ所持人之ヲ拒ムヘ
 カラス否其參加引受ヲ求メタル後ニ非サレハ前者ニ對シテ擔保ヲ請求
 スルヲ得サルハ既ニ説明シタルカ如シ之ニ反シテ豫備支拂人ニ非サル
 者ノ參加引受ハ所持人ニ於テ之ヲ拒ムコトヲ得(第五百一條)或ハ之ヲ排
 斥權ト稱スルヲ得ヘシ所持人ハ支拂人ノ引受ヲ得サルニ因リテ既ニ前
 者ニ對シテ擔保ヲ請求シ以テ他日ノ支拂拒絶ニ備フルヲ得ル地位ニ在
 リ此時ニ際シ所持人ノ意ニ反シ其信ヲ措カサル者ノ參加引受ヲ強制シ
 擔保請求權ノ行使ヲ阻止スルヲ得サルハ寧ロ理ノ當然ニシテ必スシモ
 法律ノ明文ヲ待タサルナリ所持人ハ之ヲ斥ケ擔保請求權ヲ遂行スルヲ
 得サルヘカラス然レトモ所持人ハ唯排斥權ヲ有スルノミ之ヲ受諾シタ
 ルトキハ豫備支拂人ノ參加引受ト同一ノ效果ヲ生シ所持人ヲシテ擔保

各論 爲替手形約束手形 參加 參加引受

請求權ヲ失ハシム(第五百六條)蓋シ諾否ハ所持人ノ自由ニシテ進テ之ヲ
受諾シタルトキハ自己ノ權利ヲ確實ナラシムルニ足ルノ意思ヲ表示シ
タリト云フヘキナリ豫備支拂人ニ非サル者數人カ參加引受ヲ爲サント
スル場合ニ於テ所持人其中ニ就キ己ノ信スル者ヲ選擇スルヲ得(第五
百二條)ルハ排斥權ノ當然ノ結果ナリ

參加引受ノ
擔保請求權
ニ關スル
效果

六 參加引受ノ擔保請求權ニ關スル效果ハ第五百六條ニ規定スル所ニシ
テ所持人及ヒ被參加人ノ後者ハ擔保請求權ヲ失フニ在リ此效果ヲ生ス
ルハ前述セル如ク參加引受ノ豫備支拂人ニ出ツルト然ラサルト問ハ
サルナリ左ニ之ヲ分解スレハ
い 所持人ハ擔保請求權ヲ失フ所持人ハ參加引受ニ拘ハラヌ被參加人
ノ前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルヲ得ルノ説ハ第五百六條ノ明文ニ反
ス

ろ 被參加人ノ後者ハ擔保ヲ供スルノ義務ナク又自ラ擔保ヲ請求スル

ヲ得ス其義務ナキハ自己ノ後者ハ皆參加引受ヲ以テ満足セサルヘカ
ラサルカ故ニシテ其權利ナキハ己モ亦參加引受ヲ十分ナル擔保ト認
メサルヘカラサレハナリ

は 被參加人及ヒ其前者ハ各其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルヲ得(第五
百七條)何トナレハ參加引受ハ是等ノ者ニ取リテハ引受拒絕ノ代償タ
ラサレハナリ此場合ニ於テハ擔保請求ニ關スル一般ノ原則ニ從フ(第
四百七十五條乃至第四百七十九條)被參加人ヲシテ擔保請求權ヲ行ハ
シムル爲メ所持人ハ參加引受ノ旨ヲ記載セシメタル引受拒絕證書ヲ
參加引受人ニ交付シ參加引受人ハ之ヲ被參加人ニ交付スルナリ(第五
百四條)而シテ前者ノ供シタル擔保カ被參加人ノ後者ノ利ニ歸セサル
ハ參加引受ニ因リテ擔保請求權ヲ失ヒタル者ナレハナリ

に 參加引受人ハ被參加人及ヒ其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルヲ得ス
參加引受ハ被參加人ヲシテ擔保ヲ供スルノ義務ヲ免レシムルヲ目的

各論 爲替手形約束手形 參加 參加引受

トス而シテ被參加人ハ其前者ニ對シ擔保ヲ請求スル爲メニ參加引受人ヨリ拒絕證書ノ送付ヲ受クルナリ參加引受人ハ參加支拂ヲ爲シタル後ニ於テ始メテ權利ヲ取得ス(第五百十三條)

ハ引受人又ハ約束手形ノ振出人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ參加引受ハ擔保請求權ノ行使ヲ阻止スルノ效力ナシトスルノ說ハ何等ノ根據ナシ

參加引受人ノ債務

七 參加引受人ハ被參加人ノ後者ニ對シテ手形上ノ債務ヲ負擔ス(第五百五條之ヲ以テ參加引受ノ本體ト爲ス被參加人及ヒ其前者ニ對シテ責任ナキハ參加引受ノ性質ヨリ生スル當然ノ結果ニシテ參加引受人ハ支拂ノ後ハ之ニ對シテ償還請求權ヲ行フナリ(第五百十三條)參加引受人ノ債務ノ額ハ支拂アラサリシ手形金額及ヒ費用ニシテ(第五百五條)滿期日以後ノ利息ハ其負擔スル所ニ非サルナリ何カ故ニ然ルカハ余之ヲ解スル能ハス參加引受ハ所持人ヨシテ支拂人ヨリ順當ノ支拂ヲ受ケタルト同

參加引受人ニ對スル權利ノ保全

八 一ノ利益ヲ享受セシムルニ在ルノミナラス所持人ハ償還義務者ニ對シテ當然滿期日以後ノ利息ヲ請求スルヲ得ル(第四百九十一條)ニ拘ハラス之ヲ參加引受人ノ負擔トセサルハ甚タ奇ト云ハサルヘカラス

八 參加引受人ハ所持人カ滿期日到来ノ時ニ於テ支拂ヲ得サルニ當タリテ其債務ヲ履行スルナリ既ニ述ヘタルカ如ク參加引受ハ引受ナキヲ前提トシテ之ヲ爲スモノナリト雖モ支拂人カ曩ニ引受ヲ拒絕シタルハ必スシモ支拂ヲ拒絕スヘシト斷スヘカラス故ニ所持人ハ先ツ支拂人ニ就キ支拂ヲ得ルヲ試ミ之ヲ得サルトキハ滿期日及ヒ其後ノ二日內ニ支拂拒絕證書ヲ作ラシメ然ル後始メテ參加引受人ニ支拂ヲ求ムルナリ而シテ參加引受人ニ對スル支拂要求ノ呈示モ亦滿期日及ヒ其後ノ二日內ニ於テセサルヘカラス之ヲ爲ササレハ參加引受人ハ其義務ヲ免ル(第五百五條)其理由如何曰ク參加引受人ハ支拂ヲ爲シタル後被參加人及ヒ其前者ニ對スル所持人ノ權利ヲ取得スルヲ豫期スルモノニシテ(第五百十三

各論ニ爲替手形約束手形 參加 參加引受

餘其豫期ニ違ハサラント欲セハ償還義務者タル被參加人及ヒ其前者ニ對スル權利ヲ保全スルヲ必要トス其保全ニハ支拂拒絶證書ノ作成ハ缺クヘカラサルナリ又拒絶證書作成ノ期間内ニ參加引受人ニ支拂要求ノ呈示ヲ爲スヘシトスルハ參加引受人ノ負擔ヲ輕減シ且參加引受人ヲシテ支拂ノ後所持人ノ權利ヲ取得セシムルニハ其支拂ハ順當ノ支拂ト同一ノ效益ヲ與ヘサルヘカラサレハナリ參加引受人ノ免責ノ事由上述スルカ如シ故ニ所持人ハ極メテ短キ期間内ニ支拂拒絶證書ヲ作ラシメ且速ニ參加引受人ニ對スル呈示ヲ怠ルヘカラサルナリ而シテ參加引受人ニ對スル權利ノ保存ニハ呈示ノミナラス參加支拂拒絶ノ場合ニ於テハ尙ホ且期間内ニ拒絶證書ヲ以テ之ヲ證スルヲ必要トスルヤ否ヤニ付テハ學說異ナレリ我商法亦之ヲ明言セサルモ余ハ積極說ヲ可トス何トナレハ呈示ハ拒絶證書ヲ以テ證明スヘキ事實ナレハナリ

尙ホ一言加フヘキハ我商法ノ主義ヨリ立論スルトキハ所持人ハ被參加

參加引受人ノ權利

九 人及ヒ其前者ニ對シ償還請求ノ通知ヲ發セサルヘカラス然ラサレハ參加支拂人カ所持人トシテ取得スヘキ權利ナケレハナリ

テ參加引受人ハ引受拒絶證書作成ノ費用ノ支拂ト交換的ニ所持人ヲシテ參加引受ノ旨ヲ記載シタル拒絶證書ヲ交付セシムルコトヲ得**第五百四條第一項**參加引受人ハ手形上ノ債務ヲ負擔スルノミニシテ手形上ノ債權者ニ非ス被參加人及ヒ其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルヲ得サルハ參加引受ノ性質ニシテ又所持人ノ權利ヲ取得スルハ參加支拂ヲ爲シタルニ因ル其前ニ在リテハ權利ヲ有セサルナリ參加引受人トシテ被參加人ニ對シテ如何ナル權利ヲ有スルカハ其間ノ實質的ノ關係ニシテ固ヨリ手形上ノ法律關係ニ非サルナリ

第四節 參加支拂

參加支拂 (Ehrenzahlung, Zahlung per onor, paiement par intervention, après protêt, sous protêt, par honneur, payment for honour, supra protest) トハ豫備支拂人並ニ參加引

各論 爲替手形約束手形 參加 參加支拂

受人ノ支拂及ヒ豫備支拂人ニ非ス又參加引受人ニ非サル者ノ支拂ヲ云ハ
約束手形ニモ參加支拂アルハ理ニ於テ參加引受ヲ認メサルヘカラサルノ
ミナラス第五百二十九條ニ於テ參加支拂ニ關スル規定ヲ準用シタルニ依
リテ明ナリ

一 參加支拂ハ償還請求權行使ノ條件備ハル場合ニ於テ之ヲ爲スモノナ
ルハ參加ノ性質ノ然ラシムル所ナリ而シテ參加支拂ハ所持人ヲシテ支
拂地ニ於テ支拂時期ニ順當ノ支拂ヲ得タルト同一ノ效益ヲ收メシムル
ヲ目的トスルカ故ニ參加支拂トシテ有效ニシテ且參加支拂人ヲシテ所
持人ノ權利ヲ取得セシムルニハ拒絕證書作成ノ期間内ニ在ラサルヘカ
ラス第五百八條第一項ハ所持人ハ拒絕證書作成ノ期間内ニ參加引受人
及ヒ豫備支拂人ニ參加支拂ヲ求ムヘキヲ定メ第三項ニ於テ所持人之ヲ
爲ササルトキハ豫備支拂人ノ指定者及ヒ其後者又ハ被參加人及ヒ其後
者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フヘキヲ定ム以テ法律ノ趣意ヲ存スル所

參加支拂ハ
拒絕證書
作成ノ期
間内ニ在
ルヲ要ス

ヲ推知スヘキナリ唯參加引受人ハ拒絕證書作成ノ期間内ニ呈示アリタ
ルノ事實ヲ拒絕證書ヲ以テ證セラルルアラハ其義務ヲ免レスト雖モ其
期間ヲ經過シタル後ニ至リテ支拂ヲ爲シタルトキハ所持人タルノ權利
ヲ取得スル能ハス又豫備支拂人ニ非ス參加引受人ニ非サル者ノ參加支
拂ニ付テハ特ニ明文ノ據ルヘキナキモ他ノ參加支拂ト區別スルノ理ナ
ク殊ニ所持人ハ支拂ヲ得サルカ爲メニ既ニ償還請求權行使ノ條件ヲ備
フルニ至リタルモノニシテ參加支拂ヲ強ヒ以テ其行使ヲ阻止スルヲ得
サルナリ

被參加人

二 被參加人ノ何人ナルヤハ拒絕證書ヲ以テ之ヲ明ニスヘシ(第五百十五
條第七號)ト雖モ豫備支拂人ノ參加支拂ハ指定者ノ爲メニシ參加引受人
ノ支拂ハ被參加人ノ爲メニシタルモノト解スヘキナリ而シテ豫備支拂
人ニ非ス參加引受人ニ非サル者ノ參加支拂ハ支拂人ノ爲メニシタルモ
ノト看做ス(第五百十一條)

參加支拂ハ
單純ナルヲ
要ス

三 參加支拂ハ單純ナラサルヘカラス一部ノ參加支拂ハ所持人之ヲ排斥シテ償還請求權ヲ遂行スルヲ得支拂人引受人若クハ約束手形ノ振出人カ一部支拂ヲ爲シタル場合(第四百八十四條第一項)ニ於テ其殘額全部ノ參加支拂ハ所持人ニ於テ之ヲ拒ムヘカラサルナリ

參加支拂人

四 參加支拂ハ豫備支拂人カ豫備支拂人トシテ之ヲ爲スコトアリ前ニ參加引受ヲ爲シテ參加引受人トシテ之ヲ爲スコトアリ豫備支拂人トシテ委託ヲ受ケサル者ハ參加引受ヲ爲シ參加引受人トシテ之ヲ爲スコトアリ又豫備支拂人ニ非ス參加引受人ニ非サル者之ヲ爲スコトアリ

豫備支拂人
參加引受人
アル場合ニ
於ケル權利
保全ノ手續

豫備支拂人及ヒ參加引受人アルトキハ所持人ハ拒絕證書作成ノ期間内ニ其參加支拂ヲ求メ之ヲ得サル時ニ非サレハ前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スヲ得ス(第五百八條第一項)其豫備支拂人カ前ニ參加引受ヲ拒絕シタルトキト雖モ所持人ハ更ニ其參加支拂ヲ求メサルヘカラス又參加引受人ノ豫備支拂人タルト然ラサルト區別セサルナリ而シテ所持人此

手續ヲ爲ササルトキハ豫備支拂人ニ在リテハ其指定者及ヒ其後者ニ對スル權利ヲ失ヒ參加引受人ニ在リテハ被參加人及ヒ其後者ニ對スル權利ヲ失フ(第五百八條第三項)引受人ニ對スル權利ハ支拂擔當者ノ記載アル他地拂手形ニ在リテモ依然トシテ存ス又指定者若クハ被參加人ノ前者ハ參加支拂ノ利益ヲ享受セス所持人カ法定ノ手續ヲ履行シ參加支拂ヲ得ルモ其償還義務ヲ免ルル能ハサルヲ以テ所持人ノ是等ノ前者ニ對スル權利ノ消滅スヘキ理由アラサルナリ
所持人カ完全ニ其權利ヲ保全セント欲セハ豫備支拂人及ヒ參加引受人ニ手形ヲ呈示シ參加支拂ヲ得サル場合ニ於テハ支拂拒絕證書ニ記載セシムルヲ要ス(第五百八條第二項)所持人ハ執達吏ニ委託シ執達吏ハ支拂人ニ就キ支拂ヲ求メ之ヲ得サルトキハ支拂拒絕證書ヲ作成シ更ニ豫備支拂人又ハ參加引受人ニ對シテ手形ヲ呈示シ支拂ヲ得サルトキハ同一ノ拒絕證書ニ其旨ヲ記載スルナリ

五 豫備支拂人ニ非ス參加引受人ニ非サル者ノ參加支拂ト雖モ所持人之ヲ拒ムヲ得ス此受諾ノ義務ハ外國法ノ汎ク認ムル所ニシテ參加引受ト區別スルノ理アリ蓋シ引受ニ在リテハ引受人ノ信用如何ヲ顧ミルノ要アリト雖モ單純ナル支拂ヲ提供スル者アルトキハ其何人ニ出ツルモ所持人ノ利益ヲ損傷スルコトナケレハナリ而シテ所持人之ヲ拒ミタルトキハ其參加支拂ノ利益ヲ享受スヘキ者即チ被參加人タルヘキ者及ヒ其後者ニ對スル權利ヲ失フ(第五百九條)獨國手形法ニ於テハ被參加人タルヘキ者ハ其義務ヲ免レストス然レトモ其理由ハ余ノ解スル能ハサル所ニシテ此點ニ於テハ我商法ノ規定ヲ優レリトス

六 參加支拂ニ因リテ手形上ノ債務ヲ免ルル者ハ被參加人ノ後者ナリ爲替手形ノ振出人ノ爲メニスル參加支拂ハ一切ノ裏書人ノ償還義務ヲ消滅セシメ裏書人ノ一人ノ爲メニスル參加支拂ハ之ニ對シテ償還請求權ヲ有スル後者ノ全員ヲシテ其償還義務ヲ免レシム而シテ被參加人及ヒ

其前者ハ依然トシテ債務者タリ引受人ノ約束手形ノ振出人ハ參加支拂ニ因リテ其義務ヲ免レス參加支拂ヲ爲シタル者ハ豫備支拂人タルト參加引受人タルト純然タル第三者タルト問ハス是等ノ者ニ對スル所持人ノ權利ヲ取得ス(第五百十三條)茲ニ所持人ノ權利ヲ取得ストハ所持人ノ地位ニ代ハリ若クハ所持人ノ有シタル權利ヲ承繼スルノ意ニ非ス一般手形ノ所持人トシテ有スヘキ權利ヲ取得スルノ謂ナリ故ニ支拂ヲ受ケタル所持人ニ對スル人的抗辯ハ之ヲ參加支拂人ニ對抗スルヲ得サルナリ即チ支拂拒絶證書作成ノ期間經過ノ後ニ於ケル被裏書人カ裏書人ノ有シタル權利ノミヲ取得シ(第四百六十二條)若クハ保證人カ所持人ノ主タル債務者ニ對シテ有セシ權利及ヒ主タル債務者カ其前者ニ對シテ有スル權利ヲ取得ス(第四百九十九條)ルトハ自ツカラ區別セサルヘカラサルナリ是ヲ以テ參加支拂人ハ手形金額滿期日以後ノ利息費用及ヒ相場ノ差額ヲ請求スルヲ得ヘク(第四百九十一條)第四百七十一條其權利ヲ行

參加支拂人ノ權利

フニ當タリ債務者ノ何レニ對シテ請求スルモ其自由タルハ論ナキナリ

七 參加支拂人ハ手形金額及ヒ費用ノ支拂ト交換的ニ所持人ヲシテ參加支拂ノ旨ヲ記載シタル拒絕證書及ヒ手形ヲ交付セシムルヲ得(第五百十二條)手形ハ參加支拂人ニ於テ手形上ノ權利ヲ行フノ基礎タリ拒絕證書ニハ已參加支拂人トシテ支拂ヲ爲シタル旨ノ記載アリ以テ拒絕證書作成ノ期間内ニ參加支拂アリタルヲ證ス之ニ依リテ參加支拂人ノ被參加人及ヒ其前者ニ對スル權利者タル資格ヲ表明スルヲ得

參加支拂人ハ被參加人ニ對シテ所持人タルノ權利ヲ行フヲ得ト雖モ其間ノ實質的關係ニ基キテ補償ヲ請求スルヲ得即チ手形上ノ權利ヲ行フト此補償請求權ヲ行フトハ參加支拂人ノ擇ム所ニ在リ

第五節 多數參加ノ競合

多數參加ノ競合トハ豫備支拂人數人アリ又ハ參加引受若クハ參加支拂ヲ爲サントスル者數人アル場合ノ謂ナリ此場合ニ於テ所持人ハ其何レノ參

加ヲ求ムヘキカ其何レノ參加ヲ受諾スヘキカ其順序選擇ヲ過リタルトキハ何レノ債務者ニ對シテ其權利ヲ喪失スルニ至ルヘキカ如何ナル債務者カ所持人ノ過誤ヲ理由トシテ其責任ヲ拒否スルヲ得ヘキカ凡ソ是等ノ問題ハ即チ本節ニ於テ説明スヘキモノタリ而シテ余ハ參加引受ト參加支拂トニ分ツヲ便トス

多數參加引受ノ競合

豫備支拂人ノ多數

所持人選擇ノ自由

第一 參加引受 參加引受ハ豫備支拂人ニ出ツルコトアリ委託ヲ受ケサル者ニ出ツルコトアリ故ニ自ツカラ三箇ノ場合ニ細分スルヲ得ルナリ

一 豫備支拂人數人アルトキハ所持人ハ其各員ノ參加引受ヲ求メ之ヲ得サルトキニ非サレハ前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルヲ得ス(第四百八十條)第五百條第一項然レトモ所持人ハ其何レニ對シテ呈示シ其何レノ參加引受ヲ受諾スルモ其自由ニ在リ我商法第五百二條ニ參加引受ヲ爲サントスル者數人アルトキハ所持人ハ選擇ニ從ヒ其一人ヲシテ引受ヲ爲サシムルヲ得ト規定セルハ數人ノ豫備支拂人アル場合ニモ

各論 爲替手形約束手形 參加 多數參加ノ競合

適用セラルルモノニシテ所持人ハ己ノ最モ倚頼スルニ足ルト信スル者他日参加支拂ヲ爲スノ希望多シトスル者ノ参加引受ヲ選擇スルヲ得故ニ今爲替手形ノ振出人ノ記載シタル豫備支拂人カ参加引受ヲ提供スルモ所持人ハ裏書人ノ指定シタル豫備支拂人ノ参加引受ヲ受諾スルヲ得又前後ノ裏書人ノ指定シタル豫備支拂人ニ付テモ所持人ハ自由ノ選擇權ヲ有ス之ヲ要スルニ先後ノ順序ハ所持人ノ間フ所ニ非ス又選擇ヲ過ルノ問題ヲ生セス唯一切ノ豫備支拂人ノ参加引受ヲ求メタル後ニ非サレハ前者ノ何レニ對シテモ擔保ヲ請求スルヲ得サルハ、而シテ其前者ノ豫備支拂人ヲ指定シタル者ナルト否トヲ問ハス又其前者ノ手形行爲カ豫備支拂人ノ指定ノ前後ニ在ルヲ區別セサルナリ

参加引受ノ選擇ハ全然所持人ノ自由ニ在ルヲ以テ豫備支拂人モ亦所持人ノ選擇ノ爲メニ何等ノ損益ヲ被ムルヘキ理由ナキナリ今一例ヲ

豫備支拂人
ニ非サル者
ノ多數
所持人選擇
ノ自由

二 豫備支拂人ニ非サル者數人参加引受ヲ爲サントスルトキハ所持人ハ其選擇ニ從ヒ其何レノ参加引受ヲモ受諾スルヲ得蓋シ豫備支拂人ニ非サル者ノ参加引受ハ所持人ニ於テ之ヲ排斥スルヲ得(第五百一條)ルカ故ニ選擇ノ自由ヲ有スルハ當然ニシテ固ヨリ擔保供與ノ義務ヲ免ルヘキ債務者ノ數ノ多少ヲ問ハサルナリ(第五百二條)此點ニ付テモ外國法ノ主義亦一ナラス

論アリト雖モ我商法ノ解釋ニ資スヘカラス

舉ケテ説明センニ所持人カ後ノ裏書人ノ指定シタル豫備支拂人ノ参加引受ヲ受諾スルモ其被参加人(豫備支拂人ヲ指定シタル裏書人)ハ前ノ裏書人ノ指定シタル豫備支拂人ノ参加引受ニ因リ擔保供與ノ義務ヲ免ルヘキ者ニ對シテ擔保ヲ請求スルヲ得ルナリ是或ハ豫備支拂人ヲ指定シタル趣旨ニ反スルノ嫌ナキニ非サルヘシ然レトモ自由選擇制度ノ當然ノ結果ナリ獨國手形法第五十六條ノ意義ニ付テハ大ニ議論アリト雖モ我商法ノ解釋ニ資スヘカラス

二 豫備支拂人ニ非サル者數人参加引受ヲ爲サントスルトキハ所持人ハ其選擇ニ從ヒ其何レノ参加引受ヲモ受諾スルヲ得蓋シ豫備支拂人ニ非サル者ノ参加引受ハ所持人ニ於テ之ヲ排斥スルヲ得(第五百一條)ルカ故ニ選擇ノ自由ヲ有スルハ當然ニシテ固ヨリ擔保供與ノ義務ヲ免ルヘキ債務者ノ數ノ多少ヲ問ハサルナリ(第五百二條)此點ニ付テモ外國法ノ主義亦一ナラス

豫備支拂人
ト豫備支拂
人ニ非サル
者トノ多数
所持人選擇
ノ自由

三 豫備支拂人ト豫備支拂人ニ非サル者ノ參加引受競合スル場合ニ於
テモ所持人ハ選擇ノ自由ヲ有ス第五百二條ハ豫備支拂人タルト否ト
ヲ區別セサルナリ故ニ爲替手形ノ振出人カ豫備支拂人ヲ指定シタル
トキト雖モ所持人ハ裏書人ノ爲メニスル參加引受ヲ受諾スルヲ得テ
而カモ其被參加人ハ振出人ニ對シテ擔保ヲ請求スルヲ得ルナリ唯豫
備支拂人ノ參加拒絕ノ後ニ非スンハ所持人ハ擔保ヲ請求スルヲ得サ
ルハ既ニ説明シタルカ如シ

參加支拂

第二 參加支拂 參加支拂ヲ爲ス者ハ參加引受人(豫備支拂人若クハ委託
ヲ受ケサル者)タルアリ豫備支拂人タルアリ又其何レニモ非サル者タル
アリ從テ參加支拂ノ競合ハ大ニ錯雜ヲ極ムルコトアルヘシ而カモ我商
法ノ規定スル所ハ余ヲ以テ之ヲ見レハ主義ノ貫徹セサルモノアリ參加
支拂ヲ求ムルノ順序モ一定ノ規準ヲ缺クカ如ク其順序ヲ過リタル場合
ニ於ケル制裁ニ至リテハ依據スルノ法文ナク正當ノ解釋ヲ求ムル頗ル

第五百八條
ト第五百十
條トノ關係

難キノ感アリ其解釋ヲ試ムルニ先チテ大ニ注意セサルヘカラサルハ第
五百八條ト第五百十條トノ關係是ナリ參加引受人若クハ豫備支拂人ア
ル場合ニ於テハ所持人ハ其參加支拂ヲ求メタル後ニ非サレハ前者ニ對
シテ償還請求ヲ爲スヲ得サルハ第五百八條ノ定ムル所ニ依リテ明ナリ
ト雖モ其何レノ參加支拂ヲ受諾スヘキカ殊ニ參加引受人ニモ非ス豫備
支拂人ニモ非サル者カ參加支拂ヲ爲サントスルトキハ所持人ハ如何ニ
選擇スヘキカ其選擇ヲ過リタル場合ニ於ケル法律上ノ結果如何是等ハ
研究ニ値スヘキ問題ナリ

參加引受人
ノ多数

一 參加引受人數人アルトキハ所持人ハ最も多數ノ者ヲシテ債務ヲ免
レシムル效力ヲ有スル支拂ヲ受ケサルヘカラス第五百十條ノ規定ハ
多數參加引受人ノ場合ニモ適用スヘキモノナレハナリ第五百八條第
一項ハ參加引受人ノ各員ニ對シテ支拂ヲ求ムヘキヲ定メタルノミニ
シテ其先後ノ順序ハ即チ第五百十條ニ依リテ定マル而シテ所持人其

各論 爲替手形約束手形 參加 多數參加ノ競合

所持人先後
ヲ過リタル
結果

順序ヲ過リタルトキハ如何ナル結果ヲ生スヘキカニ付テハ我商法明文ヲ掲ケス然レトモ其參加支拂ヲ無効ナリトスルハ參加ノ性質ニ反シ又所持人ノ利益ニ悖ル第五百十條ニ「要ス」ト云ヘルハ其規定スル所ニ違フトキハ法律上ノ效果ナシトノ意ニ非サルナリ而シテ之ニ違反セル場合ニ於テ法律上ノ結果ヲ異ニスルナクンハ同條ハ死文タルニ終ラン余ハ參加支拂人ノ權利ニ差異ヲ生スルモノト解釋セント欲ス他ニ非ス比較的少數ノ者ヲシテ債務ヲ免レシムル參加支拂アリタルトキハ其參加支拂人ハ比較的多數ノ者ヲシテ債務ヲ免レシムル參加支拂ノ利益ヲ享受スル者ニ對シテ權利ヲ行フヲ得サルナリ其理由タルヤ第五百八條第三項及ヒ第五百九條ト同一ニシテ參加支拂ニ因リテ債務ヲ免ルヘカリシ者ナレハナリ詳言スレハ所持人カ參加支拂ヲ求メス若クハ參加支拂ヲ拒ムモ恰モ參加支拂アリタルト看做シ前者ヲシテ其義務ヲ免レシム唯多數ノ者ヲシテ債務ヲ免レシムル參加

豫備支拂人
ノ多數
純然タル第
三者ノ多數

參加引受人
及ヒ豫備支
拂人

參加引受人
ノ支拂ヲ先
ニ求ムルヲ
要ス

支拂人ノ被參加人タルヘキ者ハ縱令其參加支拂アルモ義務ヲ免レサル者ナルヲ以テ(第五百十三條)依然トシテ債務者タリト論スルヲ可ナリト信ス

二 豫備支拂人アルトキハ全然同一ノ原則ニ從フヘシ

三 參加引受人ニ非ス豫備支拂人ニ非サル者ノ參加支拂競合シタルトキ亦同シ

四 參加引受人ト豫備支拂人ト共ニ在ルトキハ所持人ハ先ツ參加引受人ニ就キ支拂ヲ求メ參加引受人單純ナル支拂ヲ爲ササルトキ始メテ豫備支拂人ニ支拂ヲ求ムヘキハ第五百八條第一項ノ明定スル所ナリ余ハ其規定スル所ハ唯一切ノ參加引受人及ヒ豫備支拂人ニ支拂ヲ求メサレハ前者ニ對シ償還請求ヲ爲スヲ得サルヲ定メタルノミニ非スシテ二者併存スル場合ニ於テ參加引受人ニ優先ノ地位ヲ與ヘタルモノト解釋ス何トナレハ若シ參加引受人ナキトキ又ハ參加引受人カ支

各論 爲替手形約束手形 參加 多數參加ノ競合

所持人先後
ヲ過リタル
結果

拂ヲ爲ササリシトキハ豫備支拂人ニ爲替手形ヲ呈示スヘシト規定ス
 レハナリ斯ノ如ク參加引受人ヲ先ニスヘシトセハ其參加支拂カ果シ
 テ豫備支拂人ノ參加支拂ニ比シテ多數ノ債務者ヲシテ其債務ヲ免レ
 シムルヤ否ヤヲ問フノ理ナキナリ故ニ參加引受人及ヒ豫備支拂人ア
 ルトキハ先ツ所持人ニ於テハ參加引受人ヲ選ヒ次ニ豫備支拂人ニ及
 フヘク而シテ豫備支拂人數人アル場合ニ於テ如何ニスヘキカハ豫備
 支拂人ノミ數人アル場合ニ關スル原則ニ從フナリ
 所持人カ參加支拂ヲ求ムルノ順序ヲ守ラスシテ參加引受人アルニ拘
 ハラス豫備支拂人ノ參加支拂ヲ受ケタルトキハ如何此場合ニ於テモ
 其參加支拂ヲ無効ナリトスルノ謂レナシ而シテ事態極メテ錯綜セル
 ヲ以テ了解ニ便スル爲メ例ヲ擧ケテ説明スヘシ甲ヲ振出人トシ乙丙
 丁戊己順次各裏書ヲ爲シテ今手形ハ庚ノ手ニ在リトセン(一)丙ノ爲メ
 ニ參加引受人アリ戊カ豫備支拂人ヲ指定シタル場合ニ於テ庚カ參加

引受人ノ參加支拂ヲ受ケタルトキハ庚ハ法定ノ順序ヲ守リタルモノ
 ニシテ亦最モ多數ノ債務者ノ利ニ歸スヘキ參加支拂タリ(二)丙カ豫備
 支拂人ヲ指定シ戊ノ爲メニ參加引受人アル場合ニ於テ庚カ參加引受
 人ノ參加支拂ヲ受ケタルトキハ其參加支拂人ハ丙及ヒ丁ニ對シテモ
 所持人タルノ權利ヲ有ス庚ハ先後ヲ過ラサルモノニシテ此場合ニ於
 テ丁カ其義務ヲ免レサルハ丙ノ豫備支拂人指定ヲ度外視スルノ嫌ナ
 キニ非スト雖モ丙ハ豫備支拂人數人アル場合ニ於テ所持人カ參加引
 受選擇ノ自由ヲ有スルト異ナル所ナキナリ(三)丙ノ爲メニ參加引受人
 アリ戊カ豫備支拂人ヲ指定シタル場合ニ於テ庚カ豫備支拂人ノ參加
 支拂ヲ受ケタルトキハ其參加支拂人ハ丁ニ對シテ權利ヲ取得スルコ
 トナシ丙ハ參加引受人ノ支拂アルモ其義務ヲ免ルル能ハサルヲ以テ
 參加支拂人カ之ニ對シテ權利ヲ取得スルハ當然ナリトス所持人カ順
 序ヲ過リタルノ結果ハ斯ノ如ク即チ數人ノ參加引受人アル場合ニ於

各論 爲替手形約束手形 參加 多數參加ノ競合

參加引受人
及ヒ豫備支
拂人ニ非サ
ル者

豫備支拂人
及ヒ豫備支
拂人ニ非サ
ル者

參加引受人
及ヒ豫備支
拂人ニ非サ
ル者

テ所持人其先後ヲ誤レルト同一ナリトスルヲ正當ナリト信ス此場合
ニ於テ第五百八條第三項ノ規定ヲ適用スヘカラサルハ論ヲ俟タス

五 參加引受人アル場合ニ於テ豫備支拂人ニ非サル者參加支拂ヲ爲サ
ントスルトキハ所持人ハ參加引受人ノ參加支拂ヲ受クルヲ法律ノ精
神ニ適スルモノト信ス參加引受人ハ豫備支拂人ニ先ツヘキハ第五百
八條第一項ノ明定スル所ニシテ亦前述セルカ如シ其委託ヲ受ケサル
者ニ先ツヘキハ當然ナルヘシ而シテ所持人先後ヲ過リタル場合ニ於
ケル結果ハ前項ニ詳説シタルト異ナラサルナリ

六 豫備支拂人ト委託ヲ受ケサル者トノ參加支拂カ競合スル場合ニ於
テハ其何レヲ先ニスヘキカハ明白ナラス第五百八條ハ其間ノ優劣ヲ
定メタルニ非ス然レトモ亦免責者ノ數ノ多少ヲ以テ標準トスルモ甚
タ疑ハシキニ似タリ余ハ參加引受人カ豫備支拂人ニ先チ從テ委託ヲ
受ケサル者ニ先ツノ義ヲ推衍シテ委託ヲ受ケタル者カ其然ラサル者

ニ先ツヘキヲ妥當ナリト認ム

七 參加引受人豫備支拂人及ヒ委託ヲ受ケサル者カ競合スル場合ニ於
テハ其先後ハ前述シタルノ理ニ照ラシテ明白再説スルヲ要セサルヘ
シ

之ヲ要スルニ一方ニ在リテハ第五百八條ハ參加引受人ノ豫備支拂人ニ先
ツヘキヲ定メ他ノ一方ニ在リテハ第五百十條ハ參加支拂競合ノ場合ニ於
テハ最モ多數ノ者ヲシテ債務ヲ免レシムルノ效果アルモノヲ先ニスヘキ
ハ原則ヲ掲ケ必スシモ免責者ノ數ノ多少ヲ以テ唯一ノ標準トセサルカ故
ニ先後ノ問題ヲ解決スルニ當タリテ憑據スル所ニ惑ハサルヲ得ス獨國手
形法第六十二條及ヒ第六十四條ノ如ク一ニ免責者ノ數ヲ以テ先後ヲ決シ
參加引受人タルカ故ニ豫備支拂人ニ先ツカ如キヲ認メサレハ單ニ其先後
ヲ過ルノ結果ヲ論スルヲ以テ足ル余ハ立法論トシテ固ヨリ獨法ノ主義ノ
實ニ優レルヲ疑ハス

第八章 拒絶證書

四二八

爲替手形ノ振出人、裏書人、約束手形ノ裏書人、支拂擔當者ノ記載アル爲替手形ノ引受人及ヒ約束手形ノ振出人ハ所持人カ引受、支拂參加引受若クハ參加支拂ヲ求ムル爲メ手形ヲ支拂人、引受人、支拂擔當者、約束手形ノ振出人、豫備支拂人、參加引受人ニ呈示シテ之ヲ得サル場合ニ於テ擔保ヲ供シ又償還ヲ爲スナリ又一覽後定期拂手形及ヒ一覽拂手形ニ在リテハ呈示期間ヲ遵守セサルトキハ所持人ハ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失ヒ他地拂手形ニ在リテハ所持人呈示期間ヲ徒過シタルトキハ擔保義務者ハ其義務ヲ免レ引受人若クハ約束手形ノ振出人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ拒絶證書ヲ以テ其擔保ヲ供セサルヲ證明セサレハ前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス參加引受人ハ拒絶證書作成ノ期間内ニ支拂要求ノ呈示ヲ受ケ其拒絶ノ場合ニ於テ拒絶證書ヲ以テ之ヲ確認セサルトキハ其義務ヲ

免レ豫備支拂人アル場合ニ於テハ所持人其參加引受ヲ求メ拒絶證書ヲ以テ之ヲ得サルヲ證スルニ非サレハ前者ニ對シテ擔保請求ヲ爲スヲ得ス又豫備支拂人若クハ參加引受人アルトキハ所持人ハ拒絶證書作成ノ期間内ニ其參加支拂ヲ求メ之ヲ得サル場合ニ於テ拒絶證書ニ依リ、其事實ヲ證セサレハ豫備支拂人ノ指定者及ヒ其後者又ハ被參加人及ヒ其後者ハ償還義務ヲ免レ爲替手形ノ複本ノ所持人ハ引受ヲ求ムル爲メニ送付セル一通ノ返還ヲ得サルコト及ヒ他ノ一通若クハ數通ヲ以テ引受若クハ支拂ヲ得サルコトヲ拒絶證書ニ依リテ證明セサレハ擔保請求權若クハ償還請求權ヲ行フコトヲ得ス又謄本ノ所持人ハ原本ノ返還ヲ得サル事實ヲ拒絶證書ニ依リテ證明セサレハ謄本ニ手形行爲ヲ爲シタル者ニ對シテ擔保若クハ償還ノ請求ヲ爲スヲ得ス凡ソ是等ノ場合ニ於テハ所持人カ拒絶證書ヲ以テ正當ノ手續ヲ履行シタルヲ明確ニセサルヘカラス拒絶證書ノ作成アリテ始メテ前者其他ノ債務者其義務ヲ履行シ若クハ所持人其權利ヲ保全スル

各論 爲替手形約束手形 拒絶證書

四二九

ヲ得ヘキナリ

第一節 拒絶證書ノ性質

證據證券ナリ

拒絶證書ハ手形上ノ權利ノ行使若クハ保全ニ必要ナル行爲ヲ爲シタルコト及ヒ其行爲ノ結果ヲ證スル唯一ノ要式的證券ナリ左ニ之ヲ分解スレハ

- 一 證據證券ナリ 拒絶證書ハ手形法上ノ行爲ヲ證明スルノ具ナリ其作成ハ法律關係ヲ設定スルノ效力ヲ有セサルハ勿論之ヲ作成シタルノ故ヲ以テ法定ノ行爲ヲ爲シタリト看做スニ非ス拒絶證書ヲ以テ其行爲ニ代フルヲ得サルナリ然レトモ

唯一ノ證據證券ナリ

- 二 唯一ノ證據證券ナリ 他ノ證書ヲ以テ之ニ代ヘ其足ラサルヲ補ヒ若クハ訴ノ提起ヲ以テ之ニ代ハラシムルヲ得サルナリ我商法ハ爲替手形及ヒ約束手形ニ付テハ法定ノ行爲ヲ爲シタル證トシテハ獨リ拒絶證書ヲ認ムルノミ支拂人カ支拂拒絶ノ旨及ヒ其年月日ヲ記載シテ手形ニ署名シ以テ支拂拒絶證書ニ代フル(第五百三十四條)ハ小切手ニ特別ノ制度

要式證券ナリ

ニシテ爲替手形及ヒ約束手形ニ轉用スルヲ許ササルナリ外國ノ法律ニ於テ被呈示者ノ陳述(Private Erklaerung)ヲ以テ公正證書ニ代フルヲ認ムルモノ其例アリト雖モ我商法ハ多數ノ立法例ニ倣ヒ拒絶證書ヲ缺クヘカラサル證據證券トセリ

- 三 要式的證券ナリ 拒絶證書ノ形式ハ法律ノ定ムル所ニシテ之ニ記載

スヘキ要件ハ亦命令的ノ性質ヲ有ス手形カ手形上ノ權利ノ缺クヘカラサル基礎タルト同シク拒絶證書ハ遡求權及ヒ他地拂手形ノ引受人振出人ニ對スル權利ノ唯一ノ基礎ナリ而シテ裁判官ハ職權ヲ以テ手形ノ形式ニ欠缺ナキヤ否ヤヲ調査スルカ如ク拒絶證書ノ形式モ亦職權上調査スヘキ事項ナリ

法定ノ要件ヲ備ヘサル拒絶證書ハ其效力ナキナリ然レトモ形式ノ不備ハ必スシモ其效力ヲ害スルニ非ス苟モ拒絶證書ノ本體ニ反セス其記載スル所ニ基キ亦其記載ノ相互ノ關係ヨリ法律ノ要求スル事項ノ存在ヲ

各論 爲替手形約束手形 拒絶證書 拒絶證書ノ性質

認ムルヲ得ヘキトキハ之ヲ以テ足レリトシ微細ノ不正確若クハ推知シ得ヘキ書損ノ如キハ妨ナキナリ大審院ノ判決ニ「商法第五百十五條ノ規定ハ唯手形其謄本及ヒ補箋ニ記載シタル事項ヲ拒絕證書ニ記載スヘキコトヲ命シタルニ止マリ手形ヲ原狀ノ如ク謄寫スヘキコトヲ命シタルニ非ス」ト云ヒ(大審院判決錄第六卷第一四六頁)又「商法第五百十五條第四號ハ前號ノ請求ヲ爲シ又ハ之ヲ爲スコト能ハサリシ地ノ記載方ニ付キ一定ノ方式ヲ規定シタルモノニ非サルヲ以テ拒絕證書ハ之ニ記載セル他ノ事項ト對照シテ前號ノ請求ヲ爲シ又ハ之ヲ爲スコト能ハサリシ地タルコトヲ知リ得ヘキ記載アレハ足レリトス」ト云ヘル(大審院判決錄第九卷第一〇九七頁)ハ能ク余ノ意ヲ得タルモノニシテ此趣旨ハ汎ク拒絕證書ノ要件ニ適當スルナリ

拒絕證書ノ性質ハ前述スルカ如シ故ニ公證人又ハ執達吏カ拒絕證書ヲ作成シタルトキハ之ニ記載シタル事項ハ確定シタル效果ヲ有スト雖モ其所載ノ事實ニ相違セルノ反證ヲ排斥スルニ非ス例セハ手形ヲ呈示セス拒絕者ニ對シテ何等ノ請求ヲ爲サス法定ノ期間ヲ經過シタル後ニ於テ始メテ拒絕證書ヲ作成シタリ等ノ事實ヲ立證シテ拒絕證書ノ無効ナルヲ主張スルヲ得ルナリ

第二節 拒絕證書ノ作成者

拒絕證書作成ノ機關トシテ我商法ノ認ムルハ公證人及ヒ執達吏ナリ(第五百十四條)蓋シ拒絕證書ハ法定ノ行爲及ヒ其結果ヲ證スル唯一ノ證據ナレハナリ而シテ公證人ニ付テハ明治十九年法律第二號公證人規則同年司法省令甲第二號公證人規則施行條例及ヒ同年司法省令甲第三號公證抗告手續アリ執達吏ニ付テハ明治二十三年法律第五十一號執達吏規則同年法律第五十二號執達吏手数料規則及ヒ同年司法省令第二號執達吏登用規則アリ茲ニ其詳細ヲ論スルノ要ナシト雖モ拒絕證書ノ作成ニ密接ノ關係ヲ有スルモノヲ掲擧スヘシ

一 公證人及ヒ執達吏ハ共ニ其職務執行ノ區域アリ公證人ニハ受持區ノ

各論 爲替手形約束手形 拒絕證書 拒絕證書ノ作成者

定アリ(則公證人規第四條)其區外ニ於テハ何人ノ爲メニモ職務ヲ行フヲ得ス之ヲ行ヒタルトキハ其書類ハ公正ノ效ヲ有セス(則公證人規第七條)執達吏ニハ所屬區裁判所アリ其管轄區域内ニ於テ拒絕證書ノ作成ニ關スル行爲ヲ爲スヘキナリ(則執達吏規第四條)

二 公證人ハ理由ナクシテ人民ノ囑託ヲ拒ムコトヲ得ス(則公證人規第八條)執達吏モ亦其職務ヲ行フヘキ委任ヲ受ケタルトキハ正常ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス(則執達吏規第十條)

三 公證人證書ヲ作ルニハ其囑託人ノ氏名ヲ知り面識アルヲ必要トシ且丁年者一名ノ立會人ヲ要シ囑託人ノ氏名ヲ知ラス面識ナキトキハ其本籍或ハ寄留地ノ郡區長若クハ戶長ノ證明書又ハ公證人氏名ヲ知り面識アル丁年者二人以上ヲ以テ其人ヲ證セシムヘク之ニ違ヒタルトキハ其證書ハ公正ノ效ヲ有セス(則公證人規第二十八條)商法施行法第二百二十四條ハ例外ヲ認メ拒絕證書ノ作成ニハ之ヲ適用セサルヲ規定シタリ

四 公證人職務施行除斥ノ事由ハ第三十六條及ヒ第三十七條ノ定ムル所ニシテ執達吏ニ付テハ第八條ニ之ヲ列擧ス

五 公證人ノ受クヘキ手数料ハ第六十五條ニ定メ執達吏ハ拒絕證書ノ作成ニ十錢、拒絕者ノ營業所、住所、居所ノ問合ヲ爲シタルトキハ別ニ二十錢ノ手数料ヲ受ク(則執達吏規第十六條)

六 執達吏拒絕證書ヲ作リタルトキハ其原本ハ之ヲ委任者ニ交付スヘク公證人ハ證書ノ原本ヲ保存スヘキハ公證人規則第三十九條ノ定ムル所ナリト雖モ拒絕證書ニ付テハ原本ハ之ヲ囑託者ニ交付スヘキモノト解セサルヘカラサルカ如シ第五百十七條ハ例外的規定タルノ趣意ヲ明示ス

公證人又ハ執達吏拒絕證書ヲ作リタルトキハ其帳簿 (Protokollregister, registre particulier) ニ其證書ノ全文ヲ記載スルコトヲ要ス(第五百十七條第一項)帳簿ノ設備ヲ命スルハ主トシテ原本喪失ノ場合ニ於テ之ニ基キテ謄本ヲ發行

各論 爲替手形約束手形 拒絕證書 拒絕證書ノ作成者

セシムルニ在リ利害關係人ハ公證人又ハ執達吏ニ對シテ謄本ノ交付ヲ請求スルヲ得ヘク其謄本ハ原本ト同一ノ效力ヲ有ス(第五百十七條第二項)

第三節 拒絕證書ノ方式

拒絕證書ニ記載スヘキ事項ハ法律ノ定ムル所ナリト雖モ拒絕者ノ陳述ニシテ記載スヘキモノハ作成者ニ對スル陳述ナリ作成者ハ自己ノ實驗シタル所ヲ拒絕證書ニ記載スルモノニシテ所持人ノ報告ニ信賴シテ拒絕證書ヲ作成スルニ非ス普通ノ順序トシテハ所持人先ツ呈示ヲ爲シ其效ヲ奏セサル場合ニ於テ拒絕證書ノ作成ヲ委託スルナリ然レトモ所持人直チニ委託ヲ爲スモ可ナリ拒絕證書ヲ以テ證スヘキハ作成者自ラ手形ヲ呈示シテ要求ヲ試ミタルノ事實ニシテ所持人ノ呈示及ヒ其呈示カ實效ヲ收メサルノ事實ニ非ス前者ニ對スル遡求權行使ノ條件ヲ履行シタルヤ否ヤ手形上ノ權利ノ保全ニ必要ナル行為ヲ爲シタルヤ否ヤヲ決スル唯一ノ標準ハ作成者ノ呈示ニシテ所持人ノ呈示ニ非ス(大審院判例三頁)唯所持人直チニ作

拒絕證書ニ記載スルハ作成者ニ對スル陳述ナリ

成者ニ委託シタル場合ニ於テ被呈示者即時ニ其要求ニ應シタルトキハ畢竟要ナクシテ委託ヲ爲シタルモノナルヲ以テ其費用ハ所持人ニ於テ之ヲ負擔セサルヘカラサルノミ故ニ所持人呈示ヲ爲シ其要求ノ納レラレサルカ爲メニ作成者ニ委託シタルニ被呈示者直チニ作成者ノ要求ニ應シタルトキハ拒絕證書ヲ作成スヘキニ非ス之ヲ作成スルモ前者ニ對スル遡求權ノ基礎タルヘカラサルナリ (Grubhut II § 80 s. 82, 83, Staub zu Art 87 § 16, Bernstein zu Art. 41 § 1, 3 s. 201, Pappenheim Z. f. H. R. XLII s. 311, 312, Goldschmidt System s. 253, Renand in Basch's Archiv XLIII s. 291, XLVI s. 41, Vgl. Cosack § 51 s. 270, 280) 之ヲ要スルニ二回ノ呈示ヲ爲スヲ通例ノ方法トス所持人先ツ呈示ヲ爲シ其目的ヲ達セサルトキハ作成者ニ委託ス作成者呈示ノ實效ナキヲ證スルニハ更ニ呈示ヲ爲シテ要求ヲ試ムヘキナリ
拒絕證書作成ノ委託ヲ受ケタル者手形金額ノ支拂ヲ受領スルノ權能ヲ有スルヤ否ヤハ獨國學者間ノ一大疑問ニシテ判例モ亦一定セサルカ如シト

作成者支拂受領ノ權能

各論 爲替手形約束手形 拒絕證書 拒絕證書ノ方式

雖モ前述セルカ如ク作成者自ラ呈示ヲ爲シテ要求ヲ試ミサルヘカラストセハ自ツカラ支拂ヲ受領スルノ權利ヲ有スルノミナラス之ヲ受領スルノ義務アリト云ハサルヘカラス被呈示者カ手形金額ヲ提供スル場合ニ於テ拒絶證書ヲ作成スルハ委託者ノ意思ニ合ハス又法律ノ精神ニ適セサルナリ(大審院判決第九頁)

拒絶證書ノ記載事項

拒絶證書ニ記載スヘキ事項ハ第五百十五條ノ定ムル所ナリ左ニ其各箇ノ事項ニ付キ其大要ヲ説明セント欲ス

第一 手形、其、謄、本、及、ヒ、補、箋、ニ、記、載、シ、タ、ル、事、項、

拒絶證書ニ手形、其謄本及ヒ補箋ノ謄寫ヲ命スルハ如何ナル手形ニ付キ拒絶證書ヲ作成スルカヲ明ニスルニ在リ拒絶證書ニハ特定ノ手形ノ爲メニスルヲ表示スヘキカ故ニ二者相符合スルヲ必要トスルハ當然ナリ裏書引受、保證、支拂擔當者、豫備支拂人、複本及ヒ原本ノ送付先、一覽後定期拂ノ手形ニ在リテハ引受若クハ一覽ノ日附、裏書ノ禁止、無擔保、拒絶證書

作成ノ免除、複本ノ指示等皆拒絶證書ニ謄寫スヘキ事項ナリ然レトモ番號、手形原簿ノ枚數ノ如キ手形行爲ニ關係ナキ事項ハ之ヲ謄寫スルヲ必要トセス法律ノ求ムル所ハ手形ノ「イ」デンチテ「ト」ラシテ疑ナカラシムルニ在リ從テ拒絶證書ノ不備ハ重要ナルヤ否ヤヲ區別セサルヘカラス振出ノ年月日、手形金額、滿期日ノ誤寫、取立委任ノ裏書ヲ固有ノ裏書トシ無記名式ノ裏書ヲ記名式トスルカ如キハ前者ニ屬シ手形行爲者ノ住所ヲ誤リ若クハ引受ノ旨ヲ記載セサルハ後者ノ例ナリ又謄寫ノ形體ハ必スシモ原狀ノ如クナルヲ要セス(大審院判決第九頁)

第二 拒絶者、及ヒ被拒絶者ノ氏名、又ハ商號

拒絶者トハ手形上ノ請求ヲ受クル者ヲ云ヒ被拒絶者トハ其請求ヲ爲ス者ヲ云フ而シテ其氏名又ハ商號ヲ拒絶證書ニ記載セシムルハ請求カ其資格ヲ備フル者ニ出テタルヤ否ヤ及ヒ請求ヲ受ケタル者カ果シテ正常ナルヤ否ヤヲ明確ニスルニ在リ請求者及ヒ被請求者ノ資格ハ固ヨリ拒

各論 爲替手形約束手形 拒絶證書ノ方式 四三九

拒絶者

絶證書ニ依リテ定マルニ非ス既ニ各其所ニ於テ説明シタリト雖モ了解ニ便センカ爲メ茲ニ一括シテ其要ヲ摘舉スヘシ

一 引受、拒絶、證書ニ在リテハ拒絶者ハ必ス支拂人ナリトス他地拂手形ニ在リテモ亦然リ支拂拒絶證書ニ在リテハ支拂人引受ヲ爲サス其引受カ偽造ナルトキ若クハ支拂人ニ非サル者ニ出ツルモ支拂人ヲ以テ拒絶者トス約束手形ニ在リテハ振出人即チ拒絶者ナリ支拂擔當者ノ記載アル他地拂手形ニ在リテハ支拂擔當者カ唯一ノ拒絶者ナリ故ニ支拂人ニ對シテ拒絶證書ヲ作成スルモ無効タリ之ニ反シテ支拂場所ヲ記載シタル手形ニ付テハ爲替手形ニ在リテハ支拂人若クハ引受人、約束手形ニ在リテハ振出人ヲ以テ拒絶者トス豫備支拂人アルトキハ是亦引受拒絶證書ノ拒絶者ニシテ豫備支拂人、參加引受人ハ支拂拒絶證書ノ拒絶者ナリ

拒絶者破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ拒絶者ハ破産者ニシテ破産

被拒絶者

管財人ニ非ス拒絶者カ死亡シ若クハ禁治産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テモ其相續人若クハ法定代理人ニ對シ拒絶證書ヲ作成スルハ必要ナラス亦之ヲ以テ足レリトセス然レトモ被相續人若クハ無能力者ニ對シテ拒絶證書ヲ作リタル後更ニ相續人若クハ法定代理人ニ對シ之ヲ續行スルヲ至當ノ方法トス (Staub zu Art. 88 § 18, Bernstein zu Art. 87 D, IT, I, n) s. 369, 370)

二 被拒絶者ハ我商法ノ解釋トシテ裏書連續ノ形式ヲ備フル者ナルヲ要シ引受拒絶證書ト支拂拒絶證書トヲ區別セス然レトモ取立委任ノ裏書若クハ質入裏書ノ被裏書人ハ亦請求者トシテ被拒絶者タルヘク又相續人カ請求者トシテ被拒絶者タルトキハ其旨ヲ拒絶證書ニ記載スヘキナリ

拒絶者及ヒ被拒絶者ノ表示ニ付テモ其何人タルカヲ認識スルヲ得ハ多少ノ不正確若クハ誤字アルヲ妨ケス

各論 爲替手形約束手形 拒絶證書 拒絶證書ノ方式

第三 拒絶者ニ對シテ爲シタル請求ノ趣旨及ヒ其拒絶者カ其請求ニ應セザリシコト又ハ拒絶者ニ面會スルコト能ハサリシ理由

公證人又ハ執達吏カ適當ニ呈示ヲ爲シタルヤ否ヤ其適當ノ呈示ハ如何ニシテ其效ヲ奏セサリシカハ亦拒絶證書ニ記載セサルヘカラサル事項ナリ是亦何ヲ以テ適當ナル呈示トシ若クハ呈示ヲ試ミタル方法ノ適當ナルヤ否ヤノ實質的問題トハ相關セス然レトモ事實ニ於テハ二者分離スヘカラサルヲ以テ併セテ説明スルヲ便トス

曩ニ論シタルカ如ク拒絶證書ノ作成者ハ自己ノ實驗シタル所ヲ記載スヘキモノナルカ故ニ先ツ拒絶者ノ營業所住所居所ニ赴キ之ニ面會スルヲ試ミサルヘカラス而シテ面會ヲ試ミント欲セハ其在否ヲ確メサルヘカラス營業所住所居所ニ於テ拒絶者ヲ發見セサルノ故ヲ以テ直チニ面會ヲ得ストシテ拒絶證書ヲ作ルヘキニ非ス

一 拒絶者在ルトキハ作成者ハ之ニ手形ヲ呈示シ請求ヲ爲シ且之ニ對

拒絶者在ルトキ

スル應答ヲ請フヘシ茲ニ拒絶者トハ法人ニ在リテハ其各相當ノ代表權ヲ有スル者ナラサルヘカラス何トナレハ手形上ノ請求ニ關スル交渉ハ自然人ニ非サレハ爲スヘカラサレハナリ合名會社ニ在リテハ代表社員合資會社ニ在リテハ無限責任社員代表權ヨリ除斥セラレタル者アルトキハ代表社員株式會社ニ在リテハ取締役ヲ以テ拒絶者トス而シテ營業所住所居所ニ在ル者拒絶者ナリト稱シテ交渉ヲ開始スルトキハ特ニ人違ナルノ疑ナキトキハ進テ同一人ナルヤ否ヤヲ調査スルノ要ナク從テ商業帳簿閱覽ノ勞ヲ執ル義務ナキナリ

拒絶證書ノ作成者拒絶者ニ遭遇シタルトキハ先ツ手形ヲ呈示セサルヘカラス是手形上ノ請求ハ手形ノ呈示ヲ以テ唯一ノ方法トスレハナリ呈示ニ伴フテ請求ニ應スルヤ否ヤヲ問フヘシ而シテ拒絶者ハ或ハ其請求ニ應シ或ハ之ニ應セサルコトアルヘシ

拒絶者支拂ノ請求ニ應スルトキハ作成者ハ之ヲ受領スヘシ一部支拂

各論 爲替手形拘束手形 拒絶證書 拒絶證書ノ方式

拒絕者在ラ
サルトキ

ノ提供アリタルトキハ其殘額ニ付キ拒絕證書ヲ作成スヘキナリ拒絕者請求ニ應セサルトキハ(引受請求ノ場合ニ於テ單純ナラサル引受ヲ爲シ支拂請求ノ場合ニ於テ滿期日以後ノ利息ヲ支拂ハサルモ亦然リ)作成者ハ呈示ノ全部若クハ一部ノ實效ナキヲ拒絕證書ニ記載シ請求ニ應セサルノ理由ヲ質スノ必要ナキナリ

二 拒絕者在ラサルトキハ作成者ハ相當ノ代理權ヲ有スル者ノ在否ヲ確ムルノ要ナク直チニ退去スルヲ妨ケスト雖モ手形上ノ請求ノ應否ニ付キ代理權アリト信スヘキ者交渉開始ヲ申出テタルトキハ作成者ハ之ニ應セサルヘカラス唯拒絕者ノ在否ヲ確メスシテ漫ニ第三者ト交渉スルハ不可ナリ而シテ結局拒絕者ニ面會スル能ハス又相當ノ代理權ヲ有スル者ナキトキハ作成者ハ其事由ヲ拒絕證書ニ記載スヘク(大審院判決錄第(十)輯一〇九一頁)又拒絕者ノ營業所住所居所閉鎖中ナルトキハ其旨ヲ記載スヘキナリ

地ノ記載

第四 前號ノ請求ヲ爲シ又ハ之ヲ爲スコト能ハサリシ地及ヒ年月日

是適法ノ地且正當ノ時期ニ於テ請求ヲ爲シ又ハ之ヲ試ミタルヲ明ニスルニ在リ

一 地ノ記載 何レノ地ニ於テ呈示スルヲ正當トスルヤハ第五百十五條ノ定ムル所ニ非ス爲替手形ノ引受約束手形ノ一覽ヲ求ムルカ爲メニスル呈示ハ支拂人振出人ノ營業所住所ノ所在地ニシテ其他ニ在リテハ手形ニ記載シタル支拂地若クハ爲替手形ニ在リテハ手形ニ記載シタル支拂人ノ住所地(第四百五十二條)約束手形ニ在リテハ振出地(第五百二十六條)トス故ニ例セハ支拂人ノ住所地ニ於テ作リタル支拂拒絕證書ハ無効ニシテ又拒絕者自ラ支拂地ニ在ラス其代理人亦在ラサルトキハ面會スルコト能ハス若クハ營業所住所居所ナキノ理由ニ依リテ拒絕證書ヲ作成スヘキナリ而シテ茲ニ地ト云フハ支拂地振出地住所地等ノ地ト同一ノ義ニシテ場所トハ同シカラスグリーンシート

各論 爲替手形約束手形 拒絕證書 拒絕證書ノ方式

ハ場所ノ意ニ解シ法律上ノ呈示場所ヲ記載セサレハ果シテ正當ノ場所ニ於テ呈示シタルヤ否ヤヲ明ニスル能ハスト論スルモ(11 S. 79 S. 63)立法論トシテハ可ナリ少クトモ我商法ノ解釋トシテハ當タラサルナリ

年月日ノ記

二 年月日ノ記載 年月日トハ呈示ヲ爲シ若クハ之ヲ試ミタルノ日附ニシテ拒絕證書作成ノ日附ニ非ス後者ニ付テハ法律明定スル所ナシ蓋シ請求ノ日附ハ自ツカラ拒絕證書ノ日附タルヘシト看做シタルカ故ナルヘシ

第五 拒絕者ノ營業所住所又ハ居所カ知レサル場合ニ於テ其地ノ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲シタルコト

如何ナル場合ニ於テ呈示ヲ爲シ又拒絕證書ヲ作成スヘキカハ第四百四十二條ノ定ムル所ニシテ第五百十五條ノ記載事項トハ全然別箇ノ問題ナリトス然レトモ便宜ニ從ヒ茲ニ併セテ説明セント欲ス

營業所

呈示及ヒ拒絕證書ノ作成ハ拒絕者ノ營業所若シ營業所ナキトキハ其住所又ハ居所ニ於テスルヲ要ス(第四百四十二條第一項)而シテ其營業所住所居所ハ法定地ニ於ケル呈示當時ノモノヲ指稱ス(第二百七十八條第二項)第二百八十條手形ニ記載シタルモノニ非ス其記載ノ誤レルコトアルヘク縦合誤ナキモ手形ノ流通スル間ニ所在ヲ移轉スルコトアルヘシ呈示前ノ營業所又ハ住所ヲ同地内ニ移シタル場合ニ於テ拒絕者從前ノ營業所又ハ住所ニ在ラサルノ故ヲ以テ拒絕證書ヲ作成スル能ハサルナリ

一 營業所 營業所アルトキハ之ヲ以テ呈示請求ノ唯一ノ場所トス爲替手形ノ引受約束手形ノ一覽ヲ求ムルカ爲メニスル呈示ハ支拂人振出人ノ住所地ニ於ケル營業所トシ支拂ヲ求ムルカ爲メニスル呈示ハ爲替手形ニ在リテハ支拂地ニ於ケル支拂人引受人支拂擔當者ノ營業所トシ約束手形ニ在リテハ振出人支拂擔當者ノ營業所トス豫備支拂人參加引受人ハ支拂地ニ在ラサルヘカラサルモノニシテ亦各其營業

各論 爲替手形約束手形 拒絕證書 拒絕證書ノ方式

所ニ於テ呈示ヲ爲スヘキナリ凡ソ是等ノ場合ニ於テハ其營業所ハ即チ拒絕證書作成ノ場所ナリトス而シテ營業所アルトキハ拒絕者ノ在否ヲ問ハス拒絕者在ラサルトキハ之ヲ理由トシテ其場所ニ於テ拒絕證書ヲ作成スヘキナリ故ニ營業所アリテ拒絕者在ラサルトキハ其住所居所ニ就キ拒絕者ヲ求ムルヲ要セス第四百四十二條ニ營業所若シ營業所ナキトキハ住所又ハ居所ト云フハ營業所アル場合ニ於テ之ヲ以テ法律上ノ唯一ノ場所トスルノ意ヲ明示シタルモノト解セサルヘカラス

營業所不分明ナルトキハ一應ノ搜查ヲ遂ケ之ヲ知ルヘカラサルトキハ各、自ラ其地ノ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲シ營業所所在ノ報ヲ得タルトキハ其場所ニ就キ呈示請求ヲ試ムヘキナリ公證人又ハ執達吏ハ唯其地ノ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲スヲ要スルノミ商業登記簿ノ閱覽ヲ求メ又ハ紳士録若クハ國民要鑑ノ類ヲ調査スルニ及ハス然レトモ既

住所、居所

ニ其地ニ營業所ナキヲ知ルモ問合ヲ略スルヲ得ス

住所、居所 住所、居所ニ就キ呈示請求ヲ爲スハ各、法定地ニ於ケル住所、居所ノ意タルハ營業所ト異ナルコトナシ而シテ法律ハ住所、居所ト云フモ唯拒絕者ノ所在ト解スヘキナリ其所在ハ營業所ナキ場合ニ於テ始メテ法定ノ場所タルノ效果ヲ有スルハ第四百四十二條第一項ノ明示スル所ニシテ其營業所ナシトハ拒絕者カ營業所ヲ有セス若クハ營業所ノ所在ヲ知ル能ハサルヲ併稱ス故ニ營業所アル場合ニ於テ拒絕者ノ所在ニ就キ呈示請求、拒絕證書ノ作成ヲ爲スハ不可ナリ之ニ反シテ營業所アリテ拒絕者在ラサルトキハ更ニ其所在ニ就キ是等ノ行爲ヲ爲スヲ要セサルナリ而シテ拒絕者ノ所在不分明ナル場合ニ於テ履行スヘキ手續ハ營業所ニ付キ述ヘタル所ニ同シ唯茲ニ一言スヘキハ拒絕者法人ナルトキハ代表權ヲ有スル者ノ所在ヲ搜索スルノ必要ナキナリ

營業所、住所、
知レサルト

三、營業所、住所、居所、知レサルト、キハ公證人又ハ執達吏ハ其役場又ハ官署若クハ公署ニ於テ拒絶證書ヲ作ルヘキナリ(第四百四十二條第二條)

以上説明シタル場合ニ於テ公證人又ハ執達吏ハ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲シタルコトヲ拒絶證書ニ記載スルヲ以テ足レリトス呈示請求拒絶證書ノ作成ハ各適法ノ場所ニ於テシタルモノト推定スルノ意ナリ

支拂場所

四、支拂場所、支拂場所ハ支拂地ニ在ラサルヘカラサル(第四百五十四條、第四百七十三條、第五百二十九條)ノ理由ハ既ニ説明セリ支拂場所ハ即チ支拂ヲ爲スヘキ場所トシテ特ニ手形ニ記載セルモノナルカ故ニ呈示請求拒絶證書ノ作成ハ其場所ニ於テスヘキナリ而シテ拒絶者ハ爲替手形ニ在リテハ支拂人、引受人ニシテ約束手形ニ在リテハ振出人タルハ既ニ述ヘタルカ如シ(大審院判決第九輯六九九頁一一一頁)支拂場所アリテ拒絶者在ラサルトキハ之ヲ理由トシテ其場所ニ於テ拒絶證

書ヲ作成シ又其場所不分明ナル場合ニ於テ爲スヘキ手續ハ皆營業所ニ準セサルヘカラスト信ス

第六、法定ノ場所外ニ於テ拒絶證書ヲ作ルトキハ拒絶者カ之ヲ承諾シタルコト

呈示請求拒絶證書ノ作成ノ地ハ法律ノ命令スル所ニシテ當事者ノ意思ヲ以テ之ヲ動かスヘカラスト雖モ場所ハ拒絶者及ヒ被拒絶者ノ合意ニ因リテ自由ニ之ヲ選定スルヲ得第四百四十二條第一項ハ拒絶者ノ承諾アルトキハ法定ノ場所以外(例セハ就職ノ會社、銀行、劇場若クハ料理店ニ於テスルヲ妨ケサルヲ明定ス營業所アル場合ニ於テ住所、居所ニ於テシ住所、居所分明ナル場合ニ於テ公證人ノ役場ニ於テスルモ亦然リ而シテ荷モ拒絶者ノ承諾アルトキハ之ヲ以テ一切ノ債務者ニ對抗スルヲ得ヘキハ當然ナリ

第七、参加引受又ハ参加支拂アルトキハ参加ノ種類及ヒ参加人竝ニ被參

各論 爲替手形約束手形 拒絶證書 拒絶證書ノ方式

加人ノ氏名又ハ商號

之ヲ拒絶證書ニ記載セシムルノ理山ハ前章第一節ニ詳説セルヲ以テ再ヒ贅セス

公證人又ハ執達吏ノ拒絶證書ニ署名スルヲ必要トスルハ公正證書タルヲ明ニスルニ在リ公證人規則ニハ役印ノ制アリテ其押捺ヲ命スルモ拒絶證書ニハ其必要ナシ唯公證人執達吏共ニ捺印スルヲ適當トス終ニ臨ミテ一言スヘキハ同一ノ手形ニ付キ相次テ數人ニ對シ手形上ノ請求ヲ爲スヘキトキト雖モ一通ノ拒絶證書ヲ作ラシムルヲ以テ足ルナリ(第五百十六條)是無用ノ費用ヲ減スルノ趣意ニシテ例セハ支拂人支拂擔當者豫備支拂人參加引受人ニ呈示請求ヲ爲シ其請求ノ實效ヲ奏セサル場合ニ於テ其都度格別ニ拒絶證書ヲ作成スルヲ要セス數人ノ營業所住所居所ニ於テスルモ逐次一通ノ拒絶證書ニ記載スルヲ以テ足レリトス(第五百條)第二項ハ參加引受人ノ欠缺ハ引受人拒絶證書ニ記載シ第五百八條第二項ハ參加

支拂ノ欠缺ハ支拂拒絶證書ニ記載スヘキヲ規定スルハ奇異ノ感ナキニ非ス此場合ニ於テ格別ノ拒絶證書ヲ作ルモ無効ナリト解スヘキカ

第九章 複本及ヒ贍本

爲替手形複本 (Wechselduplikate, duplicata, Bill in a set, sets) ノ制度ハ一ハ手形喪失ノ危険ニ備ヘ呈示ノ時期ヲ愆ラサルノ便ニ供シ以テ債權者ノ權利ヲシテ安固ナラシメ一ハ手形ノ流通ヲ助長シ以テ之カ利用ヲ敏活ナラシムルニ在リ手形上ノ權利ハ須臾モ手形ト離ルヘカラサル關係ヲ有シ手形ヲ喪失シタルトキハ手形上ノ權利ヲ利用スルヲ得サルニ至ルヘシト雖モ數通ヲ發行スルトキハ其一通滅失スルモ他ノ一通ヲ以テ裏書ヲ爲シ引受支拂ヲ求ムル等總ヘテ手形上ノ權利ヲ保全シ之ヲ行使スルノ便ヲ缺クノ虞ナク殊ニ海外ニ手形ヲ送付スルニ當タリテ相次テ船舶ヲ異ニシ若クハ航路ヲ異ニシテ各別ニ數通ヲ郵送スルヲ一般ノ慣例トナス又所持人引受ヲ求メントスルニ當タリ呈示地タル支拂人ノ住所地遠隔シ手形ノ往復ニ幾多ノ日數ヲ要スルトキハ支拂其他ノ目的ニ手形ヲ利用スルノ時機ヲ失スル

ノ憂アリ此場合ニ於テ一通ハ引受ヲ求ムル爲メニ支拂人ノ住所地ニ送付シ他ノ一通ヲ以テ裏書ヲ爲スノ利便ヲ供スルハ亦複本ノ發行ナリ殊ニ一覽拂及ヒ一覽後定期拂ノ手形ニ在リテハ呈示期間ヲ過ルノ危険ヲ豫防スルノ目的ヲ以テ一通ハ呈示ヲ爲スカ爲メニ之ヲ支拂地若クハ支拂人ノ住所地ニ送付スルノ必要アリ

贍本 (Wechselkopien, copies, copies) モ亦手形ノ處分ヲ補助シ其流通ヲ圓滑ナラシム爲替手形ノ所持人ハ原本ニ記載シタル事項ヲ謄寫シ引受ヲ求ムル爲メ一覽拂手形一覽後定期拂手形ニ在リテハ引受支拂又ハ一覽ヲ求ムル爲メニ原本ヲ送付シ其間贍本ヲ以テ裏書ヲ爲スヲ得ルナリ

複本及ヒ贍本ハ共ニ手形複製ノ制度ナリト雖モ二者ノ間根本的ノ差異アリ複本ハ各手形タルハカヲ備ヘ皆原本トシテ各債務者ノ手形行爲ヲ負擔シ各通共ニ同一ノ活動力ヲ具有ス之ニ反シテ贍本ハ謄寫トシテハ法律上何等ノ效力ヲ有セス之ニ手形行爲ヲ爲シタル者アリテ始メテ手形上ノ作

複本ト贍本
異ノ根本的差

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ贍本

用、發、揮、シ、而、カ、モ、唯、原、本、ノ、補、充、タ、ル、ノ、效、果、ヲ、有、ス、ル、ニ、過、キ、ス、複、本、ニ、ハ、各、債、務、者、ノ、手、形、行、爲、ア、リ、故、ニ、所、持、人、ハ、一、通、ニ、依、リ、テ、完、全、ナ、ル、權、利、ヲ、主、張、ス、ル、ヲ、得、又、債、務、者、ハ、一、通、ニ、依、リ、テ、其、義、務、ヲ、履、行、ス、ル、ヲ、得、ト、雖、モ、謄、本、ニ、ハ、各、手、形、行、爲、ヲ、載、セ、ス、唯、之、ニ、署、名、シ、ア、ル、者、獨、リ、債、務、ヲ、負、擔、ス、ル、ノ、ミ、

第一節 複本

第一 複本ノ性質 複本ノ性質ハ同等ノ活動資格ト單一手形ノ二者ニ區別シテ説明スルヲ便トス

一 複本ハ原本ノ複製ニシテ手形ノ代物ニ非ス各通相合シ始メテ手形タルノ作用ヲ發揚スルニ非ス又一箇ノ手形ノ構成部分ヲ成スニ非ス共ニ原本トシテ均等ノ活動力ヲ備フルナリ一通ヲ得タル者ハ之ニ依テ引受若クハ支拂ヲ求ムルヲ得ヘク特定ノ一通ヲ呈示スルヲ要セス他ノ各通ヲ示シ又ハ其所在ヲ告クルノ義務ナキナリ債務者ハ一通ノ呈示ヲ受ケタルトキハ其義務ヲ履行スルノ責任アリ他ノ各通ノ返還

複本ハ同等ノ活動資格ヲ具フ

複本ノ性質

ナキヲ理由トシテ履行ヲ拒ムコトヲ得ス又裏書人ハ自己ノ前者ニ對シテ權利ヲ行フヲ得ルノ擔保ヲ要求スルヲ得ス支拂人ハ呈示セラレタル一通ニ對シテ引受若クハ支拂ヲ爲シ以テ其責任ヲ全ウスルヲ得ヘク一通ノ裏書ヲ受ケタル者ハ完全ナル手形上ノ債權者ト爲ルナリ斯ノ如ク各通ノ間ニ優劣ノ別ナク皆箇々ニ手形タル力ヲ備フルカ故ニ「*Gleichwertigkeit aller Duplikate*」ヲ説クナリ

二 複本ハ單一ノ手形ナリ手形上ノ債權一ナリ手形上ノ債務モ一ナリ外觀ニ於テハ複數ノ手形行爲アリト雖モ客觀的且實質的ニ唯一箇ノ手形上ノ法律關係存スルノミ債務者ハ數通ニ同一ノ手形行爲ヲ反覆セルニ過キス故ニ手形ノ取得者數通ヲ有スルモ唯一度引受若クハ支拂ヲ求ムルヲ得ルノミ一通ノ引受ハ即チ手形ノ引受ニシテ所持人ハ他ノ一通ヲ以テ擔保請求ヲ爲ス能ハス一通ノ支拂アリタルトキハ手形ノ支拂トシテ他ノ各通ヲシテ其效力ヲ失ハシメ債務者ハ皆其債務

複本ハ單一ノ手形ヲ成ス

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ謄本 複本

ヲ免ル又擔保義務者ハ唯一度擔保ヲ供シ償還ヲ爲スノミ所持人カ一通ニ依リテ拒絕證書ヲ作ラシメタルトキハ他ノ一通ヲ以テ遡求權ヲ行使スルヲ得之ヲ要スルニ引受擔保ノ供與支拂時効保全行爲ヲ爲サルニ因リテ手形上ノ權利ヲ消滅セシムル等皆手形ニ付テ其效果ヲ生ス故ニ學者或ハ其效果ハ同時ニ一切ノ複本ニ及フト説明ス必スシモ正確ナラサルモ能ク複本ノ性質ヲ表スルモノト云フヘシ

複本ノ方式

第二 複本ノ方式 複本ハ其外觀ニ於テ單一ノ手形ナルヲ表セサルヘカラス然ラスンハ其果シテ一箇ノ法律關係ナルヤ否ヤヲ識別スル能ハスシテ自ツカラ人其所載ニ信賴スヘカラサルニ至ルヘキナリ

複本ノ符合

一 複本ハ其所載ノ事項ヲ同ウセサルヘカラス其事項ノ手形行爲ノ要件タルト否トヲ問ハス相符合スルヲ必要トス其實體ニ於テ單一ノ手形タリ其要件ニ於テ同形タルヲ以テ足レリトセス其相符合セサル場合ニ於テハ手形行爲者ハ善意ノ取得者ニ對シテ債務ノ單一ヲ主張ス

ルヲ得サルナリ然レトモ其符合トハ單一ノ手形タルヲ推知スルヲ得ルヲ以テ足ル複本相互ノ間ニ些微ノ差異アルヲ許ササルノ意ニ非サルナリ

複本ノ表示

二 複本ニハ各通ニ其複本タルヲ示ササルヘカラス(第五百十九條)之ヲ示スノ文字ハ法律ノ定メサル所ナリト雖モ邦語ヲ以テ發行スルトキハ第一通第二通第三通ト記載スルヲ便利トスヘシ(第一號第二號第三號トスルハ振出人ノ隨意記載スル手形ノ番號ト混同スルノ虞アリ)外國語ノ複本ニハ各-Prima, Sekunda, Tertia u. s. w.; Première, deuxième, troisième etc; First, Second, Third of Exchange &c. ト記載スルヲ通例トス而シテ振出人是等ノ記載ヲ爲ササルトキハ各通ハ獨立ノ手形トシテ其效力ヲ有シ(第五百十九條)從テ手形行爲者ハ各通ニ付テ其責任ヲ負擔セサルヘカラス

失効文句

三 支拂ハ唯一度之ヲ爲スヘシトノ意ヲ手形ニ記載スルハ我商法ノ要

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ替本 複本

件ニ非スト雖モ „Zahlen Sie gegen diesen meinen Primawechsel, Sekunda, Tertia unbezahlb u. s. w.“; „Payez par cette première de change, les deuxième et troisième ne l'étant...“; „pay this First of Exchange (Second and Third unpaid...“ 等ノ文字 (clausula cassatoria, cassatorische Klausel) ヲ記載スルヲ可トス外國ノ法律ニ於テ之ヲ必要トスルノ例アリ

複本ノ發行
交付

第三 複本ノ發行交付ニ關スル權利義務ハ第五百十八條ノ規定スル所ナリ

權利者

一 爲替手形ノ所持人ハ振出人ニ對シテ複本ノ交付ヲ請求スルヲ得所持人受取人ニ非サルトキハ順次其前者ヲ經由シテ其請求ヲ爲スナリ (第五百十八條第一項)此請求權ハ法律ノ規定ニ因ルモノニシテ當事者間ノ契約ニ基クニ非ス又手形上ノ權利ニ非サルナリ
所持人複本ヲ得ントスルニ當タリテハ其直接ノ前者ニ其請求ヲ申出テ前者ハ又其直接ノ前者ニ申出テ斯ク各其直接ノ前者ヲ經由シテ遂

義務者

- ニ振出人ニ至ルナリ請求ノ手續ハ即チ斯ノ如シト雖モ請求權ノ主體ハ所持人ナリ被裏書人カ其裏書人ニ對シテ權利ヲ有スルニ非ス
- 二 複本ノ發行交付ノ義務ヲ負擔スル者ハ振出人ナリ裏書人ハ他人ノ發行シタル手形ニ裏書ヲ爲シタルニ過キス其被裏書人ニ對シテ自ラ手形ヲ發行スヘカラサルハ論ナキナリ然レトモ裏書人ハ各其前者ヲ經由シテ振出人ヲシテ複本ヲ發行セシメ且各通ニ同一ノ手形行爲ヲ爲スノ義務ヲ負擔ス無擔保裏書ヲ爲シタル者亦然リ振出人ハ發行者トシテ複本ニ署名シ之ヲ受取人ニ交付シ受取人ハ其複本ノ果シテ符合スルヤ否ヤヲ調査シ裏書ヲ爲シテ之ヲ被裏書人ニ交付シ順次同一ノ手續ヲ爲シテ終ニ所持人ノ手裏ニ歸ス(第五百十八條第二項)而シテ裏書人ニシテ死亡シ若クハ禁治産ノ宣告ヲ受ケタル者アルトキハ其相續人若クハ法定代理人ニ於テ裏書ヲ爲スヘキナリ
- 三 複本ノ數ニ付テハ法律上何等ノ制限ナシ故ニ理ニ於テハ所持人ハ

複本ノ數

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ替本 複本

複本單一手
形ノ變體

理由ヲ開示セスシテ其欲スル幾多ノ複本ヲ請求スルヲ得ルナリ

第四 複本單一手形ノ變體 複本ハ一箇ノ手形ヲ爲スモノナルヲ以テ手

形行爲者ハ皆一箇ノ債務ヲ負擔シ一通ノ支拂ハ他ノ各通ヲシテ其效力
ヲ失ハシム法律ハ其然ラサル場合ヲ掲ク然レトモ余ハ之ヲ例外ト稱ス
ルヲ妥當ナリトセス債務者ハ債權者ノ提供スル一通ニ對シテ支拂ヲ爲
シ他ノ各通ノ返還ナキノ故ヲ以テ履行ヲ拒ムヲ得サルナリ

引受アル場
合ニ於テ引
受ナキ複本
ニ對スル支
拂

一 支拂人未タ引受ヲ爲ササルトキハ滿期日到來ノ後何レノ一通ヲ呈
示スル者ニ對シテモ支拂ヲ爲スヲ得テ其支拂ハ手形上ノ法律關係ヲ
消滅セシム之ニ反シテ既ニ一通ノ引受ヲ爲シタルトキハ引受人ハ其
一通ニ對シテ支拂ヲ爲スヘシ他ノ引受ナキ一通ノ支拂ヲ爲シタルト
キハ未タ引受アル一通ノ債務ヲ免ルルヲ得ス(第五百二十條第一項)然
レトモ其債務ヲ負擔スル者ハ獨リ引受人ノミ他ノ債務者ニ至リテハ
一通ノ支拂ニ因リテ其義務ヲ免レ引受アルモノト然ラサルモノトヲ

各別ノ裏書

區別セサルナリ

二 複本ヲ各別ニ二人以上ニ裏書シタル者ハ其各別ノ手形行爲ノ拘束

ヲ受ケ從テ各通ニ付キ責任ヲ負擔セサルヘカラス(第五百二十條第二
項)蓋シ其裏書人ニ付テハ各通共ニ獨立ノ手形ニシテ單一手形ノ形體
ヲ存セサレハナリ又爾後其一通ニ裏書ヲ爲シタル者ハ其一通ニ依リ
テ當然ノ擔保義務ヲ負擔シ他ノ一通ノ引受支拂アリタルヲ理由トシ
テ其責任ヲ辭スルヲ得ス他ノ一通ノ引受支拂ノ拒絕アリタルカ爲メ
ニ擔保ヲ供シ償還ヲ爲スノ義務ナキナリ

之ニ反シテ各別ニ裏書ヲ爲シタル者ノ前者ハ唯一箇ノ債務ヲ負擔ス
ルノミ故ニ何レノ一通ニ對シテモ支拂アリタルトキハ其義務ヲ免レ
又何レノ一通ニ對シテモ擔保ヲ供シ若クハ償還ヲ爲シタルトキハ他
ノ一通ノ爲メニ請求ヲ受クルコトナシ

三 複本數通ニ引受ヲ爲シタル者ハ亦各通ニ付キ責任ヲ負擔ス(第五百

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ贈本 複本

數通ノ引受

二十條第二項學者概不其理由ヲ説明シテ曰ク一通ノ引受ハ既ニ手形ノ引受ナリ故ニ二通ニ引受ヲ爲スヘカラス殊ニ引受アル一通ヲ取得シタル者ハ其引受ニ信賴スヘク果シテ他ノ一通ニ引受アリタルヤ否ヤヲ知ルヘカラスト我商法モ一般外國法ニ倣ヒ引受ノ數ニ應シテ責任ヲ負擔スヘキノ主義ヲ採用シタルナリ唯二通以上ニ引受ヲ爲スノ必要ナキハ當然ナリトス

多數義務ハ我商法ノ主義ニ徴スルモ善意ノ取得者ヲ保護スルノ趣意ニ出テタルナリ故ニ數通ノ所持人カ其數通ノ引受ヲ得ルモ自ラ其數通ニ依リテ支拂ヲ求ムルヲ得ス又情ヲ知ル取得者ニ對シテハ引受人ハ一通ノ支拂ヲ理由トシテ其免責ヲ主張スルヲ得サルヘカラス

複本ノ流通
助長作用

第五 流通助長ノ爲メニスル複本發行ノ場合ニ於ケル特別事項 複本ノ發行ハ一ハ手形ノ利用ヲ敏活ナラシムルニ在リ今所持人引受ヲ求ムルカ爲メ一通ヲ支拂人ニ呈示セントスルトキハ之ヲ其住所地ニ在ル取引

流通複本

送付複本

先若クハ知人ニ送付シテ引受ヲ求メ其之ヲ得サル場合ニ於テ拒絶證書ヲ作ラシムルヲ委託ス其委託ヲ受クル者ヲ受託者又ハ保管者(Verwahrer)ト稱スルヲ得ヘシ而シテ所持人他ノ一通ヲ以テ裏書ヲ爲サントスルトキハ其一通余ハ之ヲ流通複本ト稱スニ引受ヲ求ムル爲メニ送付シタル一通余ハ之ヲ送付複本ト稱スノ送付先ヲ記載シテ之ヲ被裏書人ニ交付ス被裏書人及ヒ其後者ハ送付先ノ記載ニ依リテ送付複本ノ所在及ヒ其複本ヲ保管スル者ノ誰ナルカヲ知り之ニ對シテ其返還ヲ求メ以テ引受アル複本ヲ己ノ手裏ニ收ムルヲ得ルナリ

送付複本送
付先ノ記載

一 送付複本送付先ノ記載 引受ヲ求ムル爲メ一通ヲ送付シタル者ハ他ノ各通ニ送付複本ノ所在ヲ記載セサルヘカラス(第五百二十一條第一項)唯一通ハ引受ヲ求ムル爲メニ送付シタル旨ヲ記載スルノミニテハ不可ナリ受託者ノ何人ナルカヲ併記スヘキナリ是送付者ノ義務ナリト雖モ爲替訴訟ニ依リテ其履行ヲ強ユヘカラス而シテ余ク送付先

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ證明 複本

送付複本ノ
返還請求權

ヲ記載セス若クハ其記載不完全ナルトキハ唯遡求權ノ行使ニ影響ヲ及ホスノミ流通複本ノ效力ヲ奪フニ非ス

二 送付複本ノ返還請求權 流通複本ノ所持人ハ受託者ニ對シテ送付複本ノ返還ヲ請求スルヲ得(第五百二十一條第二項)所持人ノ此權利ヲ有スル所以ノ法律上ノ理由ニ付テハ學說區區タリ送付者ノ受託者ニ對スル權利ノ暗黙ノ承繼ナリトスルアリ法律上ノ移轉ナリトスルアリ委託者カ將來ノ被裏書人ノ利益ノ爲メニスル契約ナリトスルアリ其他尙ホ幾多ノ說(s. Grünhut II § 117 n. 28, Bernstein zu Art. 68 § 2 s. 266, 207)アリト雖モ余ハ所有權說ヲ主張セント欲ス蓋シ複本數通ハ法律上一體ヲ成スモノニシテ流通複本ノ被裏書人トシテ其所有權ヲ取得シタル者ハ同時ニ送付複本ノ所有權ヲ取得シ即チ所有者トシテ受託者ニ對シテ其返還ヲ請求スルナリ其權利ノ手形上ノ權利ニ非サルハ疑ナク學者亦異論ナキカ如シ

遡求權行使ノ條件

三 遡求權行使ノ條件 流通複本ノ所持人カ前者ニ對シテ擔保請求又ハ償還請求ヲ爲スニハ二箇ノ條件ヲ必要トス其一ハ送付複本ノ返還ヲ得サルコト他ノ一ハ流通複本ニ依リテ引受又ハ支拂ヲ得サルコトニシテ共ニ其事實ヲ證スル爲メニ拒絶證書ヲ作成セシムルナリ(第五百二十一條第二項)

い 受託者ヨリ送付複本ノ返還ヲ得サルハ拒絶證書 送付複本ノ送付先ノ記載カ完全ナルトキハ流通複本ノ所持人ハ其所在ヲ明知スルヲ得ルヲ以テ先ツ受託者ニ就キ其返還ヲ求ムヘキナリ受託者ハ或ハ既ニ引受ヲ得タルコトアルヘク或ハ引受ヲ得サルコトアルヘシ既ニ引受アリタルトキハ所持人ハ其目的ヲ達シタルナリ引受ナキトキハ所持人ハ自ら引受ヲ求ムルコトヲ試ムヘク之ヲ得サルトキハ普通ノ場合ニ於ケルカ如ク前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルヲ得ルナリ而シテ所持人カ引受ヲ求ムル爲メニハ何レノ複本ヲ呈示ス

送付複本ノ
返還請求權
場完全ナル
合先ノ記

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ替本 複本

ルモ可ナリグリーンフートハ必ス送付複本ヲ呈示セサルヘカラス
ト論スルモ（二）三（三）余ハ其理由ヲ解スル能ハス何トナレハ引
受ヲ求ムル爲メ何某ニ一通ヲ送付シタリト記載スルハ其所在ヲ明
確ナラシムルノ趣意ニシテ所持人ヲ拘束スヘキニ非サレハナリ故
ニ所持人ハ送付先ノ記載ヲ抹消スルヲ得ヘシ又所持人送付複本ノ
返還ヲ得タル場合ニ於テ引受アルトキハ滿期日到来ノ後之ヲ呈示
シ引受ナキトキハ何レノ複本ヲ呈示シ支拂ヲ得サルトキハ普通ノ
場合ニ於ケルカ如ク償還請求ヲ爲スヲ得

受託者送付複本ヲ返還セサルトキハ所持人ハ受託者ヲ拒絶者トシ
テ拒絶證書ヲ作ラシメサルヘカラス其返還セストハ管ニ返還ヲ拒
ミタル場合ノミナラス受託者ニ面會スルヲ得ス若クハ喪失シタル
カ爲メ返還スル能ハサル場合ヲモ併稱スルナリ茲ニ注意スヘキハ
償還ノ請求ニ付テハ所持人ハ送付複本ノ返還請求ヲ怠ルヘカラス

送付複本送
付先ノ記載
ナク又ハ其
記載不完
ナル場合

其返還ヲ得サル場合ニ於テ尙ホ拒絶證書作成ノ期間内ニ支拂人若
クハ支拂擔當者豫備支拂人參加引受人ニ呈示請求ヲ爲シ拒絶證書
ヲ作ラシムルヲ必要トスルカ故ニ其期間ノ將ニ盡キントスルニ至
リテ始メテ返還ヲ請求スルトキハ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失
フノ虞アリ

送付先ノ記載完全ニシテ送付複本ノ所在分明ナルトキハ所持人之
カ返還ヲ求ムルノ義務アルハ前述シタルカ如シ之ニ反シテ流通複
本ニ送付先ノ記載ナキトキハ所持人ハ送付複本ノ所在ヲ知ルヘカ
ラサルカ故ニ其返還請求ヲ以テ遡求權行使ノ條件トスルヲ得ス之
ヲ條件トスルハ所持人ニ不能ヲ強ユルモノニシテ殊ニ送付先ヲ明
記セサルハ送付者ノ責ニ歸スヘキナリ是ヲ以テ所持人ハ流通複本
ヲ呈示シテ引受支拂ヲ求メ之ヲ得サル場合ニ於テハ直チニ遡求權
ヲ行使スルヲ得又單ニ引受ヲ求ムル爲メニ送付シタル旨ヲ記載シ

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ謄本 複本

テ受託者ノ何人ナルカヲ示ササルトキハ所持人ハ送付先ノ記載ナ
 キ場合ト同シク之ヲ願ミスシテ可ナリ然レトモ受託者ヲ表示シテ
 委託ノ地ヲ記載セサルトキハ余ハ支拂人ノ住所地ニ在ルモノト解
 スルヲ正當ナリト信ス
 流通複本ノ引受若クハ支拂拒絶證書 支拂人送付複本ノ引受又
 ハ支拂ヲ爲ササルトキト雖モ所持人ノ請求ニ應スルコトアルヘク
 縦令然ラストスルモ所持人カ送付複本ノ返還ヲ得サルノミニテハ
 未タ手形ノ引受支拂ノ拒絶アリタルノ證タラス前者ノ擔保義務履
 行ノ條件確定セサルナリ故ニ所持人ハ其流通複本ヲ以テ引受支拂
 ヲ求メ之ヲ得サル場合ニ於テ拒絶證書ヲ作ラシメサルヘカラス
 以上二箇ノ拒絶證書アリテ始メテ遡求權ヲ行使スルヲ得其拒絶證書
 ハ固ヨリ各別ナルヲ必要トセス(第五百十六條)而シテ所持人カ其遡求
 權ヲ行フニ當タリテハ普通ノ原則ニ從フハ論ヲ俟タス支拂人支拂ヲ

拒絶シタル場合ニ於テ送付複本ノ返還ヲ擔保シタル送付者及ヒ其後
 者獨リ償還ノ請求ニ應スヘントノ說ハ何等ノ根據ナシ

第一節 贍本

贍本ノ性質

第一 贍本ノ性質 贍本ハ手形ノ謄寫ニシテ複本ト異ナリテ債務者ノ手
 形行爲ヲ載セス故ニ贍本ハ自體ニ於テ何等法律上ノ效果ヲ有セサルハ
 當然ナリ裏書ハ贍本ヲ以テスルコトヲ得テ其裏書ノ法律上ノ效果ハ即
 チ贍本ノ法律上ノ效果ヲ定ム而シテ其裏書アル場合ト雖モ原本ト相合
 スルニ非サレハ完全ナル手形上ノ作用ヲ發揮スルヲ得ス何トナレハ振
 出人引受人其他原本ニ手形行爲ヲ爲シタル者ニ對スル手形上ノ權利ノ
 行使ニハ原本ヲ必要トスレハナリ

贍本ノ方式

第二 贍本ノ方式 贍本ハ原本ノ謄寫ナルヲ以テ原本ニ記載セル一切ノ
 事項ヲ記載セサルヘカラス原本ニ符合セサルモノハ贍本ト稱スヘカラ
 サルナリ然レトモ其符合トハ絶對的ノ意義ニ於テ之ヲ云フニ非ス原本

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ贍本 贍本

附隨ノモノタルヲ推知スルヲ得ハ些微ノ差違ハ法律ノ問フ所ニ非サルナリ

原本ノ所持人カ謄本ニ手形行爲ヲ爲ストキハ其謄寫ノ終ル所ト手形行爲ノ始マル所ヲ明ニシ以テ其區域ヲ示スヘキ文字ヲ記載セサルヘカラス(第五百二十二條第二項)之ヲ示スノ文字ハ他ナシ謄寫シタル部分ノ謄寫ナルコトヲ記載スルニ在リ謄寫ナルコト分明ナラサルトキハ其取得者ハ謄本ナルヤ否ヤヲ識別スルヲ得サルヲ以テ恰モ手形タルト同一ノ效力ヲ生シ之ヲ呈示シテ引受若クハ支拂ヲ求メ拒絶證書ニ依リ其之ヲ得サルヲ證シ以テ手形行爲ヲ爲シタル者ニ對シテ手形上ノ權利ヲ行使スルヲ得ルナリ原本ニ手形行爲ヲ爲シタル者ハ責任ナク又謄寫ナルコトノ分明ナラサル謄本ノ所持人ハ原本ヲ假リテ其資格ヲ證明スル能ハサルナリ

送付先ノ記載

第三 原本送付先ノ記載 所持人謄本ヲ以テ裏書ヲ爲ストキハ之ニ原本

原本ノ返還請求權

ノ送付先ヲ記載スルヲ要ス(第五百二十三條第一項)即チ原本ノ所在ヲ明ニシ以テ謄本ノ所持人ヲシテ何人ニ對シテ原本ノ返還ヲ求ムヘキカヲ知ラシムルナリ其記載ナク若クハ其記載ノ不完全ナル場合ニ於テ生スル效果ハ遡求權ノ下ニ説明スヘシ

第四 原本ノ返還請求權 謄本ノ所持人ハ受託者ニ對シテ原本ノ返還ヲ請求スルヲ得(第五百二十三條第二項)其權利ノ基ク所ハ流通複本ノ所持人ト異ナルナシ謄本ノ被裏書人ハ手形ノ所有權ヲ取得シ所有者トシテ原本ノ返還ヲ請求スルナリ

謄本所持人ノ遡求權

第五 謄本所持人ノ遡求權 原本送付先ノ記載完全ナルトキハ謄本ノ所持人ハ先ツ受託者ニ對シテ原本ノ返還ヲ求ムヘク之ヲ得タルトキハ遡求權ノ行使保全ニ付テハ普通ノ場合ト異ナルナシ原本ト謄本トニ依リテ所持人タルノ資格ヲ表明ス面シテ受託者原本ヲ返還セサルトキハ其事實ヲ證スル爲メニ拒絶證書ヲ作ラシメサルヘカラス所持人ハ此拒絶

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ謄本 謄本

證書ニ依リテ贖本ニ手形行爲ヲ爲シタル者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲シ又贖本ニ記載シタル滿期日カ到來シタルトキハ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得第五百二十四條

一 原本ノ返還ヲ得サルハ拒絶證書ヲ以テ足レトス、贖本ヲ以テ引受若クハ支拂ヲ求メ拒絶證書ニ依リテ其之ヲ得サルヲ證スルヲ必要トセサルナリ既ニ前節ニ於テ説明シタル如ク流通複本ノ所持人ハ送付複本ノ返還ヲ得サルノ拒絶證書ヲ作ラシメタル後更ニ流通複本ヲ呈示シテ引受支拂ヲ求メ其之ヲ得サル場合ニ於テ拒絶證書ヲ作ラシメ始メテ前者ニ對シテ遡求權ヲ行フヲ得ルナリ是複本ハ自體ニ於テ手形タルノ活動力ヲ具有スルカ故ナリ之ニ反シテ贖本ハ當ニ引受ヲ爲スニ適セス之ニ引受ヲ爲スモ無効タルノミナラス若シ原本ニ引受ヲ爲シタルトキハ縱令贖本ニ對シテ支拂ヲ爲スモ原本ノ引受ノ效力ヲ消滅セシムルノ力ナク又振出人其他原本ニ手形行爲ヲ爲シタル者モ

依然トシテ手形上ノ債務ヲ負擔シ從テ支拂人贖本ニ對シテ支拂ヲ爲シ他日原本ノ呈示ヲ受ケテ支拂ヲ拒絶シタルトキハ償還義務ヲ履行セサルヘカラス是ヲ以テ支拂人ハ必ス支拂ヲ拒絶スヘキナリ果シテ然ラハ所持人ヲシテ贖本ノ呈示ヲ爲サシメ之ヲ以テ引受支拂ヲ求めントスルハ實ニ不要ノ負擔ヲ命スルモノト云ハサルヘカラス是贖本所持人ノ遡求權ハ唯原本ノ返還ヲ得サルノ拒絶證書ノミヲ條件トスル所以ナリ

二 所持人ハ唯贖本ニ手形行爲ヲ爲シタル者ニ對シテ遡求權ヲ行フヲ得ルノミ、其行爲者トハ贖本ヲ作リタル者及ヒ其後者ナリ其前者ハ原本ニ手形行爲ヲ爲シタルカ故ニ原本ニ依リテ責任ヲ負擔スルニ過キス

所持人ハ期ヲ愆タス原本ノ返還ヲ請求セサルヘカラス一覽拂手形又一覽後定期拂手形ニ在リテハ原本ノ返還ヲ得タルトキハ呈示期間内ニ

各論 爲替手形約束手形 複本及ヒ贖本 贖本

原本送付先
ノ記載完全
ナル場合

引受支拂若クハ一覽ヲ求ムル爲メニ呈示シ呈示效ヲ奏セサルトキハ拒絶證書ヲ作ラシメ原本ノ返還ヲ得サルトキハ呈示期間内ニ之ヲ得サルノ拒絶證書ヲ作ラシメサルヘカラス(第四百六十六條第一項第四百八十二條第一項第五百二十七條第一項第五百二十九條)又償還請求權ノ保全ニ付テハ原本ノ返還ヲ得タルトキハ満期日又ハ其後二日內ニ支拂ヲ求ムル爲メニ呈示シ其之ヲ得サルトキハ拒絶證書ヲ作ラシメ原本ノ返還ヲ得サルトキハ同一ノ期間内ニ之ヲ得サルノ拒絶證書ヲ作ラシメ且其拒絶證書作成ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發セサルヘカラス所持人は等ノ期間ヲ過リタルトキハ原本ノ返還ヲ得タル場合ニ於テハ前者ノ總員ニ對スル手形上ノ權利ヲ失ヒ(第四百六十六條第二項第四百八十二條第二項第五百二十七條第二項第五百二十九條)原本ノ返還ヲ得サル場合ニ於テハ贖本ニ手形行爲ヲ爲シタル者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フナリ

原本送付先
ノ記載完全
ナル場合

以上ハ原本送付先ノ記載完全ナル場合ニ於ケル所持人遡求權ノ體様ヲ説明シタリ今全ク送付先ノ記載ナキカ又ハ其記載不完全ナルトキハ贖本ノ所持人ハ原本ノ所在ヲ知ルヘカラサルヲ以テ之カ返還ヲ請求スルノ途ナク從テ其返還ヲ得サルノ事實ヲ證スル拒絶證書ノ作成アル理ナシ此場合ニ於テ所持人ハ原本ヲ有セサルカ故ニ之ニ手形行爲ヲ爲シタル者ニ對シテ權利ヲ行フヲ得サルハ論ナシト雖モ贖本ノ手形行爲者ニ對シテ遡求權ヲ行フヲ得ルヤ否ヤニ付テハ學說同シカラス送付先不明ナリト雖モ受託者ヲ搜索シテ以テ拒絶證書ヲ作ラサルヘカラスト云フハ難キヲ所持人ニ求ムルモノニシテ探ルニ足ラス而シテ消極說ノ理由トスル所ハ原本ノ返還ヲ得サルノ拒絶證書ハ支拂拒絶證書ニ代ハルモノナリト雖モ之ヲ作ラシメントスルモ拒絶者ナシトシ贖本ハ原本ノ附屬物ニシテ原本若クハ原本ニ代ハルヘキ拒絶證書ナクハ獨立ノ作用ナシ若クハ送付先ノ記載アル手形ノ裏書人ハ原本カ所持人ノ手裏ニ歸

各論 爲替手形約束手形 贖本及ヒ贖本 贖本

スヘキヲ擔保スルカ故ニ之ヲ得サルノ拒絶證書ニ依リテ責任ヲ負擔スヘシト雖モ送付先記載ノ不完全ナル手形ヲ取得スルハ寧ロ其取得者ノ不注意ナリトスルニ在リ (Grünhut II § 118 s. 369, Staub zu Art. 70 § 7, zu Art. 71 § 1, zu Art. 72 § 2, Vächter § 101 s. 437, Dernburg B. R. II § 261 n. 11 u. s. w.) 然レトモ原本ノ返還ヲ得サルノ拒絶證書ハ送付先ノ記載アルカ爲メニ之ヲ必要トスルモノニシテ複本ノ場合ニ於テ其拒絶證書ノ外尙ホ支拂拒絶證書ノ作成ヲ遡求權ノ條件トスルヲ稽フレハ支拂拒絶證書ニ代ハルモノニ非サルハ明白ナリ (v. Cunsteln § 14 n. 27) 又原本ノ返還ヲ得サルノ拒絶證書カ原本ニ代ハルモノトセハ何カ故ニ原本ノ返還ヲ得タル場合ト同シク謄本ト併セテ呈示請求ヲ爲スヲ必要トセサルカ更ニ所持人ノ過失ヲ論據トスルハ頗ル奇怪ノ說ニシテ送付複本ノ送付先不明ナル場合ニ於テ流通複本ノ所持人カ之ヲ呈示シテ遡求權ヲ行フヲ得ルノ理ヲ説明スヘカラス寧ロ自ラ債務ヲ負擔セサルヲ知り謄本取得者ノ信用

ニ負キ惡意ヲ以テ送付先ヲ記載セサルノ虞ナキニ非ス余ハ積極論ヲ主張スル者ナリ然レトモ反對論者ノ說ク如ク拒絶者ナキヲ認ム故ニ原本ノ返還ヲ得サルノ拒絶證書ヲ必要トセス又引受若クハ支拂ヲ求ムル爲メニ謄本ヲ呈示セシムルハ前説明シタルカ如ク不要ノ負擔タリ故ニ之カ呈示ヲ必要トセス即チ原本ノ返還ヲ得サルノ拒絶證書ナク又謄本ノ呈示ナクシテ所持人ハ遡求權ヲ行使スルヲ得ベルンスタインハ余ト同說ナルカ如シ (zu Art. 72 § 2, 1), B. Hb) s. 273 蓋シ送付先ヲ明記セサルハ送付者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニシテ後謄本ニ裏書ヲ爲シタル者モ其責ヲ分ツヘク恰モ送付先ヲ明記セサル場合ニ於テ所持人單ニ流通複本ニ依リテ其權利ヲ行フヲ得ルト異ナルナキナリ唯複本ハ自體ニ於テ手形タルノ活動力ヲ有スルカ故ニ之ヲ呈示シテ引受支拂ヲ求ムルヲ試ミサルヘカラス謄本ノ呈示ハ畢竟無用ノ勞ニ過キサルノ差アルノミ

小切手ノ經濟的作用

小切手

小切手 (Check, Scheck, cheque, cheque, check) ハ商人タルト非商人タルトヲ問ハス自ラ金錢ヲ授受スヘキ場合ニ於テ主ラ銀行ヲシテ之ヲ爲サシムルノ制度タリ凡ソ債務者支拂ヲ爲サントスルニ當タリテハ小切手ヲ發行シテ之ヲ債權者ニ交付シ債權者ハ支拂人トシテ指定セラレタル銀行ニ就キ現金ヲ收受スルナリ斯ノ如ク小切手ノ職分ハ現金ノ授受ニ代フルニ在ルヲ以テ自ツカラ貨幣ノ輸送保管ノ勞ト費用トヲ省キ之ニ伴フ盜失紛失遺失私消等ノ危險ヲ排シ貨幣ノ眞贋ヲ鑑別スルノ勞ト危險トヲ避クルヲ得計算ノ錯誤ヲ愛フルノ要ナク又自ラ金錢ノ取立ヲ爲スノ不便ヲ被ムラサルノ利アリ貨幣ハ銀行ノ手裏ニ在リテ運轉ノ資ト爲リ預金者ハ低率ノ利息ノ割當ヲ受クルコトヲ得ヘシ是小切手ノ經濟的作用ノ主要ナルモノナリ故ニ學者或ハ小切手ヲ貨幣ト同視スルアリ縱令然ラサルモ概ネ小切手ニ附

スルニ支拂證券ノ名稱ヲ以テス而シテ其爲替手形ト比較スルニ當タリテハ説明シテ曰ク爲替手形ハ其本體ニ於テ信用證券ナリ流通證券ナリ振出地ト支拂地トノ距離ヲ除去スルニ在リ小切手ハ之ニ反シテ單ニ支拂者ヲ代フルニ在リテ發行者即時ノ支拂ヲ爲スノ準備アル場合ニ於テ唯他人ヲシテ己ニ代ハリ其自由ニ處分スルヲ得ヘキ資金ヲ以テ支拂ヲ爲サシムルノミト金額ノ多寡ヲ問ハス無記名式ヲ以テ發行スルヲ認メ法律上一覽拂タリ支拂要求ノ呈示期間ヲ限定スル資金關係ノ定マレルナクシテ發行シタル場合ニ制裁ヲ加フルハ皆小切手ノ支拂證券タル性質ヲ明ニスルモノナリ外國ノ法律若クハ草案ニ「貸方ヨリ支拂フヘシ」(aus meinem Guthaben)トノ文句ヲ記載スヘシトシ若クハ豫メ資金ノ處分スルヲ得ヘキモノノ存スルヲ必要トシ (provision préalable et disponible) 或ハ支拂人タル資格 (passive Check-fähigkeit) ヲ銀行ニ限り爲替手形約束手形ニ恩惠期日ヲ認ムル法律ニ於テ小切手ニ之ヲ認メサル或ハ小切手ニ引受ナキヲ明定シ或ハ所持人ノ支拂

小切手ハ一種特別ノ手形ナリ

小切手契約

人ニ對スル直接ノ訴權ヲ認メントスル等ハ齊シク同一ノ思想ニ基クモノト云フヘシ固ヨリ小切手ト雖モ全然信用證券タルノ效用ヲ爲ササルニ非ス又流通證券ノ作用ヲ示スコトナキニ非ス然レトモ信用ヲ利用スルハ支拂ノ擔保タルヘキ資金關係ノ定マルヲ要シ流通モ亦極メテ短キ呈示期間内ニ限定セラル故ニ之ヲ以テ支拂證券タルノ性質ヲ拒否スルノ理由トスヘカラサルナリ

小切手ハ我商法ニ於テハ手形ノ一種ナリ故ニ手形ニ關スル理論ハ皆小切手ニ應用セサルヘカラス第五百三十七條ハ爲替手形ニ關スル規定ノ小切手ニ準用スヘキモノヲ列擧ス而シテ小切手ニ特別ナルモノ僅僅七條アルノミ第五百三十條乃至第五百三十六條即チ是ナリ

第一 小切手契約 凡ソ小切手ヲ發行シ他人ヲシテ之カ支拂ヲ爲サシムルニハ其間之ニ關スル契約ナカルヘカラス其契約ヲ稱シテ通例小切手契約 (Checkvertrag) ト云フ其法律上ノ性質ニ付テハ異説ナキニ非スト雖

各論 小切手

小切手契約

モ余ハ一種特別ノ契約ナリト解スルヲ正當ナリト信ス其趣旨トスル所
 資金關係ヲ定メ以テ支拂人トシテ指定スル者ヲシテ小切手支拂ノ義務
 ヲ負擔セシムルニ在リ銀行ニ預金アルモ預金者ハ銀行ヲシテ分割的ニ
 支拂ヲ爲サシムルノ權利ナク又資金ハ必スシモ預金タルヲ要セス根抵
 當ヲ設定シテ一定ノ金額ヲ限トシテ支拂ヲ爲サシメ預金ノ額ヲ超エ若
 クハ純然タル信用契約ニ基キテ小切手ヲ發行スル等皆小切手契約ヲ以
 テ定ムヘキ事項タリ交互計算ノ契約ニ依リテ小切手上ノ債權債務ヲ組
 入ルトキハ資金關係ノ定マルモノナリ(大審院判決錄第八輯 第七卷三四頁參照)而シテ此
 小切手契約ノ締結ト共ニ小切手帳(Checkbuch, carnet de chèques, livre de souches, chèque-book)ヲ授受シ振出人ハ必要ニ應シテ用紙ノ一葉二葉ヲ割キ法定ノ
 事項ヲ記載シテ之ヲ受取人ニ交付ス此特定ノ形體ヲ具フル小切手ヲ使
 用スルハ振出人カ小切手契約ニ因リテ負擔スル義務ト稱スヘキナリ
 小切手契約ハ當事者間ニ一種ノ法律關係ヲ生スト雖モ其關係ハ商法一

ハ當事者間
 ニ民事上ノ
 關係ヲ生ス
 ルノミ

振出ノ方式

般及ヒ民法ノ規定ニ從フヘキモノニシテ所謂手形上ノ關係ニ非サルナ
 リ小切手ノ授受カ支拂人ノ手ニ存スル資金ノ移轉タルノ效力(Cession-
 Theorie)ヲ生セサル又第三者ノ利益ノ爲メニスル契約トシテ受取人カ支
 拂人ニ對シテ直接ノ權利(direktes Klagerrecht)ヲ與ヘサルハ我商法ノ解釋ト
 シテ疑ヲ容レサルナリ

第二 振出ノ方式

小切手ナル證券ノ作成ヲ必要トスル法律カ證券ノ要件トシテ掲クルモ
 ノ大體ニ於テ命令的ノ性質ヲ有スル小切手タルノ形式ハ一ニ外觀ニ依
 リテ其備否ヲ決スル等毫モ爲替手形及ヒ約束手形ト相異ナル所ナキナ
 リ

小切手振出ノ要件ハ第五百三十條ニ列舉ス

- 一 小切手タルコトヲ示スヘキ文字 余ハ之ヲ小切手文句(Checkklinsal)
 ト稱ス之ヲ要件トスルハ獨、匈、埃等ノ草案ニシテ瑞債務法第八百三十

各論 小切手

小切手文句

條亦然リトス之ヲ要件トセサルモノ其例多シト雖モ余ハ前者ヲ可トス而シテ實際ニ於テ小切手帳ノ制度普ク行ハルルヲ以テ用紙ニ小切手ノ文字ヲ印刷スレハ足ル亦小切手文句ヲ缺キタルカ爲メ無効ニ歸スルカ如キ憂ナキナリ

手形金額

二 一定ノ金額 我商法ハ商品若クハ有價證券ノ引渡ヲ目的トスル小切手ヲ認メサルナリ記載金額相異ナルトキハ主タル部分ニ記載セルヲ手形金額トス第五百三十七條第四百四十六條

支拂人ノ氏名又ハ商號

三 支拂人ノ氏名又ハ商號 我商法ハ所謂自由主義 (Prinzip der Checkfreiheit) ヲ採リ特ニ支拂人タル資格ニ制限ヲ設ケス英國法ハ "Banker" ニ非サレハ支拂人タルヲ得スト規定ス獨國學者ハ概ネ之ニ反對ス其理由トスル所ハ "Banker" ナル文字ハ英米ニ於テハ一定ノ意義ヲ有スルカ故ニ直チニ "Bankier" 若クハ "Bank" ヲ以テ之ニ代フル能ハストスルニ在リ固ヨリ小切手ノ支拂證券タルノ性質ヨリ立論スレハ支拂交

債權者指定ノ方法

通ノ媒介ヲ營業トシ他人ノ支拂ヲ取扱フヲ業務トスル者カ支拂人ト爲リテ始メテ其經濟的目的ヲ達スルヲ得ヘク又相當ノ設備アルニ非サレハ小切手ノ支拂ヲ掌ルヘカラサルナリ我國ニ於テ支拂人ヲ銀行ニ限ルモ毫モ實際上ノ害ナキヲ認ム唯理ニ於テ制限ノ要ナシト云フノミ

振出人ト支拂人ト同一ナル小切手ハ我商法ノ認メサル所ナリ解釋トシテハ疑ヲ挾ムノ餘地ナシト雖モ立法論トシテハ或ハ不可ナルヘシ

四 受取人ノ氏名若クハ商號又ハ所持人ニ支拂フヘキ旨 此文字ノ解釋ニ付キ多少ノ疑ヲ懷ク者アルカ如シト雖モ余ハ甲ヲ受取人トシテ指定シ甲又ハ其指圖人甲又ハ所持人ノ形式ヲ以テシ又ハ單ニ所持人若クハ持參人ニ支拂アルヘキヲ記載スルハ皆有效ナルヲ認ム
い 甲ヲ受取人トスルハ記名式ナリ小切手モ亦當然ノ指圖證券ニシテ特ニ指圖文句ノ記載ナシト雖モ裏書ニ依リテ移轉スルヲ得ルナ

各論、小切手

リ(第五百三十七條第四百五十五條)

ろ 甲又ハ其指圖人ト記載スルハ指圖式ノ發行ニシテ指圖證券タルヲ表ス其裏書ニ依リテ移轉スヘキモノタルヲ論ナキナリ記名式ハ法律上指圖式ト同一ノ效果ヲ有スルハ指圖式ノ發行ヲ認ムルノ證ト云ハサルヘカラス若シ法文ノ文字ニ拘泥セハ爲替手形又ハ約束手形ノ指圖式發行モ法律ノ認メサル所ト論セサルヘカラサルニ至ルヘシ

は 受取人ヲ指定セス持參人又ハ所持人ニ支拂アルヘキノ委託ヲ爲スハ無記名式ニシテ此形式ノ有效ナルハ所持人ニ支拂フヘキ旨ト云ヘルニ依リテ明カナリ而シテ爲替手形又ハ約束手形ト異ナリテ小切手ニ在リテハ金額ノ多寡ヲ問ハサルナリ

に 甲又ハ持參人ト記載スルハ余ハ一種特別ノ形式ナリト認ムルモ既ニ純然タル持參人拂ヲ有效トシテ此形式ヲ無効ナリトスルノ理

アラサルナリ

之ヲ要スルニ爲替手形及ヒ約束手形ノ要件ニ付テハ第四百四十五條及ヒ第五百二十五條ハ唯受取人ノ氏名又ハ商號ヲ記載スヘキヲ定ムルノミ而シテ甲又ハ其指圖人トシ若クハ甲又ハ持參人トスルハ共ニ有效ニシテ小切手ニ付テ受取人ノ氏名又ハ商號ト云フモ同一ノ解釋ヲ執ルヘキモノニシテ又ハ所持人ニ支拂フヘキ旨トハ小切手ノ金額三十圓ヲ下ルトキト雖モ尙ホ此形式ニ依ルヲ得ヘキノ意ヲ明示シタルナリ

振出人ハ自己ヲ受取人トスルヲ得ヘキハ第五百三十一條ノ明定スル所ニシテ主トシテ自ラ小切手ヲ以テ現金ヲ收受セント欲スル場合ニ於テ之ヲ發行ス

五

單純ナル支拂ノ委託 其意義ハ既ニ爲替手形ニ付テ説明シタリ茲ニ一言加フヘキハ我商法ハ委託式ノ小切手 (Anweisungsschecks) ヲ認ムル

各論 小切手

支拂ノ委託

ノミ彼ノ受取式ノ小切手 (Quittungsschecks, chèque- reçu, chèque-réçépissé) ハ無
效ナリトス蘭法ハ二者共ニ有效ナルヲ明言スト雖モ英、佛、白、伊、瑞ノ諸
法皆受取式ノ小切手ニ及ハス佛國ニ於テハ受取式ノ小切手ノ非ナル
ヲ論スル者アリト雖モ尙ホ實際ニ其迹ヲ絶タス

日附

六 振出ノ年月日 支拂要求ノ呈示期間ヲ計算スルニ必要ナリトス

支拂地

七 支拂地 振出人カ支拂地ヲ記載セサル場合ニ於テ小切手ニ記載シ
タル支拂人ノ住所地ヲ以テ支拂地トスルハ爲替手形ニ於ケルカ如シ

(第五百三十七條、第四百五十二條)我商法ハ振出地ノ記載ヲ必要トセス

彼ノ異地 (distantia loci) ノ小切手ノ要件ニ非サルハ論ナキナリ嘗テ佛法

ハ手形ニ異地ヲ必要トシタル時代ニ於テ小切手ニハ同地ナルヲ認ム

振出人ノ署名

八 振出人ノ署名 手形行爲トシテ署名ヲ必要トスルハ當然ナリ

我商法ハ諸外國ノ例ニ倣ヒ小切手ニ付テハ印紙稅ヲ課セサリシ (Stempel-

Freiheit) ト雖モ (印紙稅法 第五條) 明治三十七年法律第一號非常特別稅法中改正法

一覽拂性

律ハ第三條ヲ以テ一通毎ニ一錢ノ印紙稅ヲ課スルコトトシタリ

第三 小切手ノ一覽拂性 我商法ハ小切手ヲ以テ一覽拂トス (第五百三十

二條) 一覽拂性 (Sichtigenschaft) ハ近代ノ法律ノ概ネ認ムル所ニシテ一覽後

定期拂、定日、日附小切手ヲ有效トスルハ寧ロ例外ト云フヘシ振出人カ他

ノ方法ヲ以テ滿期日ヲ定メタルトキハ其記載カ效力ヲ有セサルノミニ

シテ小切手タルノ效力ヲ害セサルナリ瑞債務法第八百三十三條ハ滿期

日ヲ定メス又ハ他ノ方法ヲ以テ滿期日ヲ定ムルモ常ニ一覽拂トスヘキ

ヲ明定ス我商法ハ此明文ヲ掲ケスト雖モ法律上一覽拂タルノ精神ヲ推

シテ同一ノ解釋ニ從ハサルヘカラス

呈示期間

第四 呈示期間 支拂要求ノ呈示期間ハ小切手ノ日附ヨリ一週間トシ (第

五百三十三條第一項) 同地小切手 (Platzchecks) ト異地小切手 (Distanzchecks)

トニ依リテ呈示期間ヲ區別スルノ例ニ從ハス又呈示期間ヲ一週間トシ

タルハ外國ノ法律及ヒ草案ノ定ムル所ニ比シテ短ニ失シタリト云フヘ

各論 小切手

カラス要ハ交通ノ便否ニ依リテ相當ノ期間ヲ定メサルヘカラスルノミ
而シテ其期間ヲ定ムルニ當タリ振出地ト支拂地トノ距離ヲ標準トスル
ヲ一般ノ例トスルモ受取人ノ住所地ヲ參酌スヘキカハ立法上ノ一問題
タルヘシ

所持人法定ノ呈示期間内ニ小切手ヲ呈示セサルトキハ振出人及ヒ裏書
人ニ對スル償還請求權ヲ失フ(第五百三十三條第二項)唯第四百四十四條
ノ規定スル所ニ依リ振出人ニ對シテ不當利得ノ償還ヲ請求スルノ一途
アルノミ

支拂拒絕ノ
表示

第五 支拂拒絕ノ表示 小切手ノ振出人ハ爲替手形ノ振出人ト同シク償
還義務ヲ負擔ス無記名式ヲ以テ發行シタル小切手ニ在リテハ手形行爲
者トシテハ獨リ振出人アルノミ其他ノ形式ノ小切手ニ在リテハ裏書人
ハ無擔保ノ裏書及ヒ支拂拒絕證書作成ノ期間經過後ノ裏書ノ外皆償還
義務者ナリ而シテ所持人小切手ノ支拂ヲ得サル場合ニ於テ前者ニ對シ

テ償還請求權ヲ行フ條件ニ至リテハ爲替手形ト異ナルナク支拂拒絕證
書ヲ作ラシメ且償還請求ノ通知ヲ發セサルヘカラス即チ拒絕證書ヲ以
テ正當ノ呈示ノ唯一ノ證據トスト雖モ支拂人カ呈示期間ノ經過セサル
前ニ於テ支拂拒絕ノ旨及ヒ其年月日ヲ小切手ニ記載シ且之ニ署名シタ
ルトキハ支拂拒絕證書ノ作成ト同一ノ效果ヲ有ス(第五百三十四條)大審
院ハ其記載ハ小切手ニ爲ササルヘカラス故ニ補箋ニ記載スルヲ以テ足
ラスト判決シタリ(大審院判決錄第
十輯一四七七頁)

償還請求ノ通知ハ其日ノ翌日マテニ發セサルヘカラスルハ拒絕ノ意思
表示及ヒ年月日ノ記載ハ支拂拒絕證書ノ作成ニ代ハルモノナレハナリ
支拂人之ヲ爲スヲ拒ミタルトキハ所持人ハ普通ノ手續ヲ履行シ拒絕證
書ノ作成ヲ怠ルヘカラス

橫線小切手

第六 橫線小切手 小切手ノ表面ニ二條ノ平行線ヲ畫クハ英國手形法ノ
"Crossing"ノ制度ニ倣ヒタルモノニシテ此線ヲ畫キタル小切手ヲ橫線小

切手又ハ筋引小切手 (Crossed cheques) ト云フ獨國ノ學者 „Kreuzen,“ „Sperren,“ „Durchqueren,“ „Querung,“ „Kreuzung,“ ト稱シ佛國ノ „barrement,“ „chèque barré,“ „chèque croisé“ 共ニ英國ノ制度ニ則リタルナリ我商法ノ規定ヲ解釋スルニ先チテ其模範ノ大體ヲ説明スルヲ便トス英法ハ „Crossing“ ヲ分チテ „General crossing“ 及 „special crossing“ ノ二トシ小切手ノ表面ニ單ニ二條ノ横線ヲ畫キ若クハ其線内ニ „and company“ 若クハ其略字ヲ記載シタルトキハ „not negotiable“ ノ文字ヲ加ヘタルト否トヲ問ハス „the cheque is crossed generally“ ト云ヒ銀行 (banker) ノ名稱ヲ記載シタルトキハ „not negotiable“ ヲ加ヘタルト否トヲ問ハス „the cheque is crossed specially“ ト云フ振出人ハ其選擇ニ從ヒ二者何レニ依ルモ可ナリ其之ナキ場合ニ於テハ所持人ハ „general or special crossing“ ヲ爲スヲ得又唯 „general crossing“ アルトキハ „special crossing“ ト爲スヲ得ルナリ而シテ „special crossing“ ノ場合ニ於テハ指定銀行ハ更ニ取立ノ爲メ (for collection) 他ノ銀行ニ „special crossing“

ヲ爲スヲ得又銀行カ取立ノ爲メ „uncrossed cheque“ 或ハ „cheque crossed generally“ ヲ受ケタルトキハ自己ノ名稱ヲ記載シテ „special crossing“ トスルヲ得ルナリ

„general crossing“ ノ場合ニ於テ支拂人タル銀行ハ銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スヘク „special crossing“ ノ場合ニ於テハ獨リ指定銀行若クハ取立代理人タル銀行ニ對シテ支拂ヲ爲スヘキナリ支拂人之ヲ守ラサルトキハ小切手真正ノ所有者カ其支拂ノ爲メニ被ムリタル損害ニ付キ責任ヲ負擔セサルヘカラス其支拂ヲ過ラサルトキハ苟モ善意ニシテ過失ナキ限リハ恰モ真正ノ所有者ニ支拂ヲ爲シタルト同一ノ利益ヲ享受スルコトヲ得 „not negotiable“ ノ文字ヲ記入スルハ小切手取得者ノ前者ニ對シテ獨立ノ權利ヲ取得スルヲ防クカ爲メナリ

„Crossing“ ノ制度ハ千八百九十七年、千八百九十八年ノスカンヂネービヤノ法律及ヒ最近ノ千九百三年勾國小切手草案ノ採用スル所ニシテ獨國

ノ學者概ネ之ニ賛同ス獨逸帝國銀行ノ現金ノ支拂ヲ爲サスシテ唯得意ノ貸方増加ノ項目トスル („nur zur Verrechnung“)ノ方法モ小切手ノ流通利用ノ制限タリ千八百九十二年ノ獨國草案及ヒ千八百九十五年ノ埃國草案之ヲ認ム

横線小切手ハ支拂人タル銀行ヲシテ正當ノ取得者ニ支拂ヲ爲サシムルヲ期スルニ在リ英國ノ銀行ハ面識ナキ者ニ對シテハ小切手ノ支拂ヲ爲ササルノ慣例ニシテ或ハ銀行ニ對シ若クハ特別ノ銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スヲ得ルモノトシ以テ小切手ノ盜失若クハ紛失ヨリ生スル損害ヲ豫防スルヲ趣意トス

爾テ我商法ノ規定ヲ參照スルニ小切手ノ振出人又ハ所持人カ其表面ニ二條ノ平行線ヲ畫キ其線内ニ銀行ノ文字ヲ記載シタルトキハ支拂人ハ銀行カ小切手ヲ呈示スルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス(第五百三十五條第一項)是英法ノ „general crossing“ニ當タル又振出人カ平行線内ニ特

我商法ノ横線小切手

定銀行ノ商號ヲ記載シタルトキ振出人カ普通ノ小切手ヲ發行シタル場合ニ於テ所持人平行線ヲ畫キ特定銀行ノ商號ヲ記載シタルトキ又ハ振出人唯平行線内ニ銀行ノ文字ヲ記載シタル場合ニ於テ所持人之ニ特定銀行ノ商號ヲ追加シタルトキハ支拂人ハ唯其特定銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スコトヲ得唯其銀行カ小切手ノ所持人ト爲リタル場合ニ於テ其商號ヲ抹消シ取立ノ爲メニ他ノ銀行ノ商號ヲ記載シタルトキハ支拂人ハ其銀行ニ支拂ヲ爲スコトヲ得ルナリ(第五百三十五條第二項)是亦英法ノ „special crossing“ト其趣旨ヲ同ウス

過料ノ制裁

第七 過料ノ制裁 振出人資金ナク又ハ信用ヲ得スシテ小切手ヲ振出シタルトキ又ハ小切手ニ虛偽ノ日附ヲ記載シタルトキハ五圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル(第五百三十六條)

一 資金關係ノ定マレルナクシテ小切手ヲ振出シタル場合ニ罰則ヲ設クルハ佛、白、伊法ニシテ千八百九十二年獨國草案、千八百九十五年埃國

各論 小切手

草案亦制裁ヲ掲ク瑞債務法ハ所持人ニ對シテ其被ムリタル損害ノ外小切手金額ノ百分ノ五ヲ償ハシム獨國ノ學者中贊成者ナキニ非サルモ輓近反對說ヲ唱フル者多シ其理由トスル所ハ振出人ノ善意ナル場合ニ於テ制裁ヲ加フルハ酷ナルノミナラス小切手ノ交通ヲ阻害スルニ至ルヘク又惡意ナルトキハ刑法ノ處罰ヲ以テ足レリトスルニ在リ千八百九十七年那法千八百九十八年瑞典法千九百三年匈國草案ハ此新說ニ從ヘリ

二 虛偽ノ日附ヲ記載シタル場合ニ制裁ヲ定ムルハ佛、白、伊法其例ナリ我商法亦之ニ倣ヒタルナリ一言スヘキハ振出ノ年月日ハ小切手ニ缺クヘカラサル要件ナリト雖モ之ヲ前後スルハ發行行爲無効ノ原因ニ非ス

此他小切手ニ關スル特別規定ナシ裏書性(第四百五十五條)裏書ノ方式(第四百五十七條)裏書ノ效力(無擔保裏書(第四百五十九條)裏書禁止ノ裏書(第四百

六十條)無記名式裏書ヲ記名式トスル(第四百六十一條)支拂拒絕證書作成ノ期間經過後ノ裏書(第四百六十二條)裏書ノ連續(第四百六十四條)支拂ノ體樣(第四百八十三條)一部支拂(第四百八十四條)償還請求ノ條件(第四百八十六條)乃至第四百八十八條)支拂拒絕證書作成ノ免除(第四百八十九條)償還金額(第四百九十一條)第四百九十二條)償還ノ體樣(第四百九十五條)償還請求ノ通知ノ效力(第四百七十八條)第二項(第四百九十六條)支拂拒絕證書ノ作成者及ヒ方式(第五百十四條)第五百十五條)第五百十七條)ニ付テハ皆爲替手形ニ關スル規定ヲ準用スルナリ(第五百三十七條)終ニ臨ミ說明ヲ試ミント欲スルモノニアリ

第八 小切手ノ引受 我商法ハ爲替手形ニ關スル引受ノ規定ハ一モ小切手ニ準用セス從テ引受ナル手形行爲ヲ認メサルナリ瑞債務法ハ小切手ニハ引受要求ノ呈示及ヒ引受ナルモノナシト云ヒ千八百九十二年獨國草案千八百九十五年匈國草案千九百三年匈國草案スカンヂネービヤ小

引受

切手法等皆引受ノ無効ナルヲ明定セリ獨國ノ學者亦概ネ異議ヲ唱ヘス蓋シ小切手ノ引受性ハ其支拂證券タル目的ト兩立セサレハナリ余ハ我商法ノ解釋トシテ一覽拂爲替手形ノ引受ノ迂ナルヲ想フ殊ニ小切手ノ呈示期間極メテ短ク之ヲ遵守セサル場合ニ於テハ前者ニ對スル償還請求權ヲ失フノ危險アリ所持人特ニ引受ヲ求ムルノ理由アラサルナリ

第九 支拂保證 米國ニ於テハ支拂人カ小切手ノ表面ニ "good" ノ文字ヲ記載スルノ慣例汎ク行ハレ之ヲ稱シテ "certification" "certifying" ト云ヒ其文字ヲ記載シタル小切手ヲ "certified checks" ト稱ス其効力ニ付キテハ大ニ議論アリト雖モ所持人ニ對シテ小切手ニ記載シタル金額ノ支拂ヲ爲シタルト同視シ從テ振出人ハ全ク其義務ヲ免ルルモノトスルカ如シ振出人ノ預金ヨリ其金額ヲ控除スルハ當然ノ結果ナリ獨國ノ學者ハ多ク "Certifizierungsformel" ハ爲替手形ノ引受トハ全然其性質ヲ異ニシ小切手ノ發行ハ小切手契約ニ違反セス若クハ資金ノ存スルヲ認ムル意思表示ト

解釋ス英國ニ "marking" ト稱スルハ稍 "certification" ニ類スルカ如シト雖モ其法律上ノ意義明確ナラス佛國ノ "visa" ハ資金アルヲ承認シ小切手發行ノ適當ナルヲ擔保スルニ止マリ支拂人ヲ拘束スルノ効力ヲ有セス又獨國學者ノ "Visierung" "Visieren" ト云フハ其性質 "visa" ニ同シ我邦ニ於テ「保證」「保證小切手」ト稱スルハ當業者ハ米國ノ制度ニ倣ヒタルモノト觀ルカ如シ何何銀行保證「ノ印ヲ押捺スルハ固ヨリ手形行爲ニ非ス其手形上ノ効力ヲ生セサルハ論ナキナリ余ハ支拂人カ支拂ヲ爲スハ絶對的債務負擔ノ意思表示ナリト解セント欲ス少クトモ保證カ手形上ノ効力ヲ生セサルヲ理由トシテ保證ヲ爲シタル銀行ニ對シテ支拂義務者トシテ請求ヲ爲スヲ得スト論スルハ誤ニシテ歸スル所ハ所謂民事上ノ効力ノ問題ナリ

日本手形法終

明治三十八年十月一日著
明治三十八年十一月四日發行
明治三十八年十二月十八日再版發行

正價金 貳圓

東京市本郷區湯島天神町一丁目七十番地

著作兼發行者 岡野敬次郎

東京市麴町區下六番町十七番地

印刷者 松澤珪三

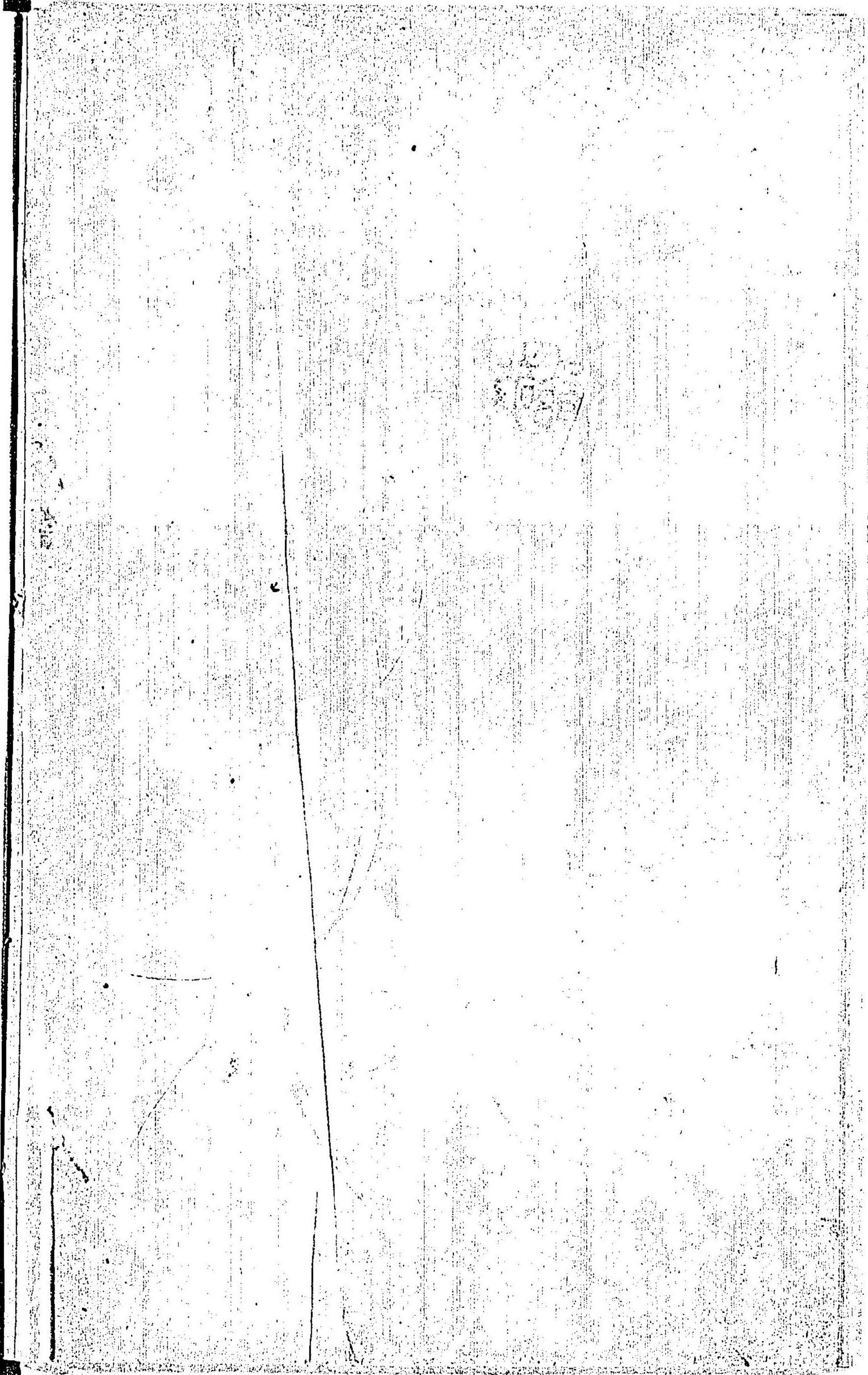
東京市神田區錦町二丁目二番地

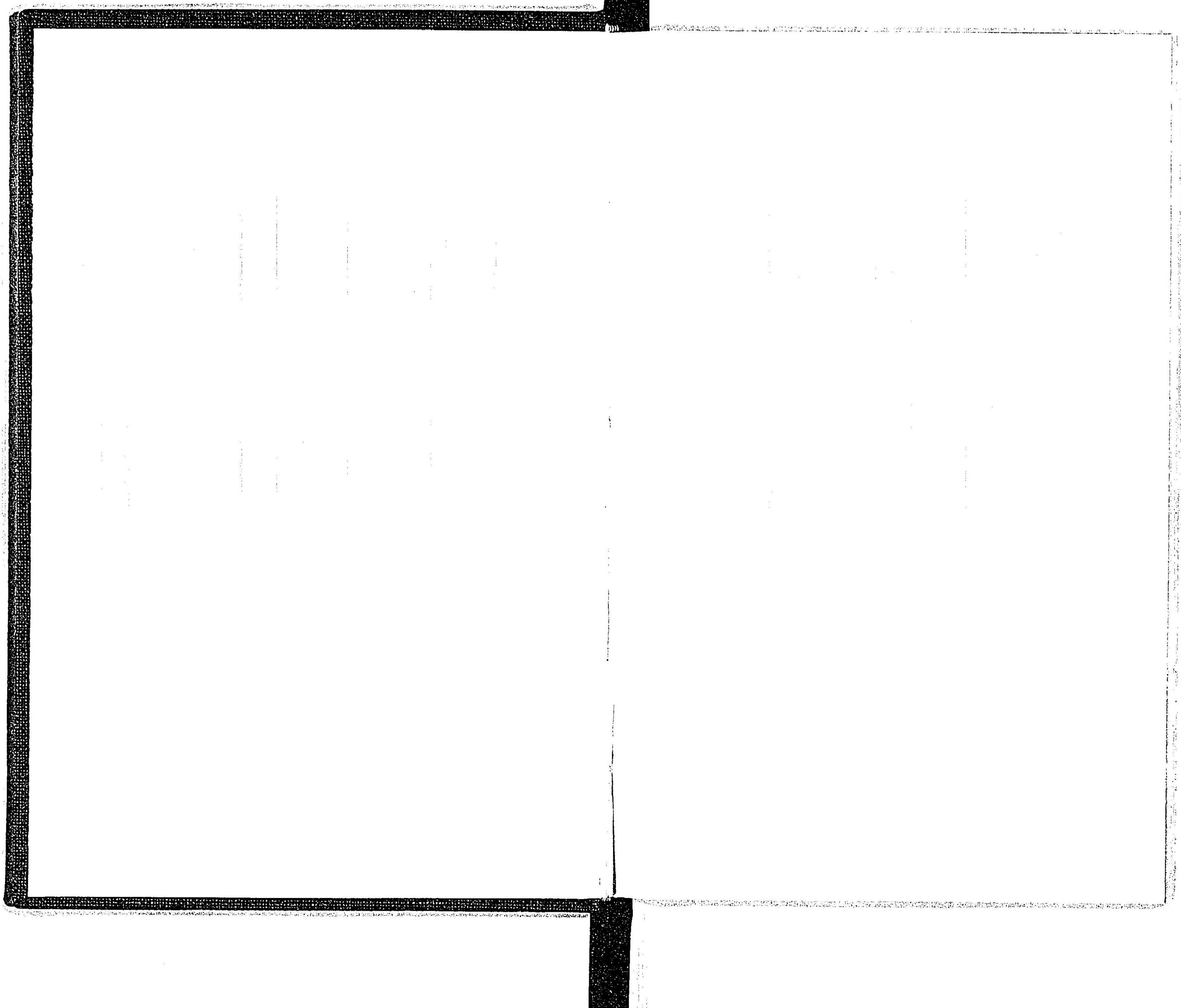
發行所 中央大學

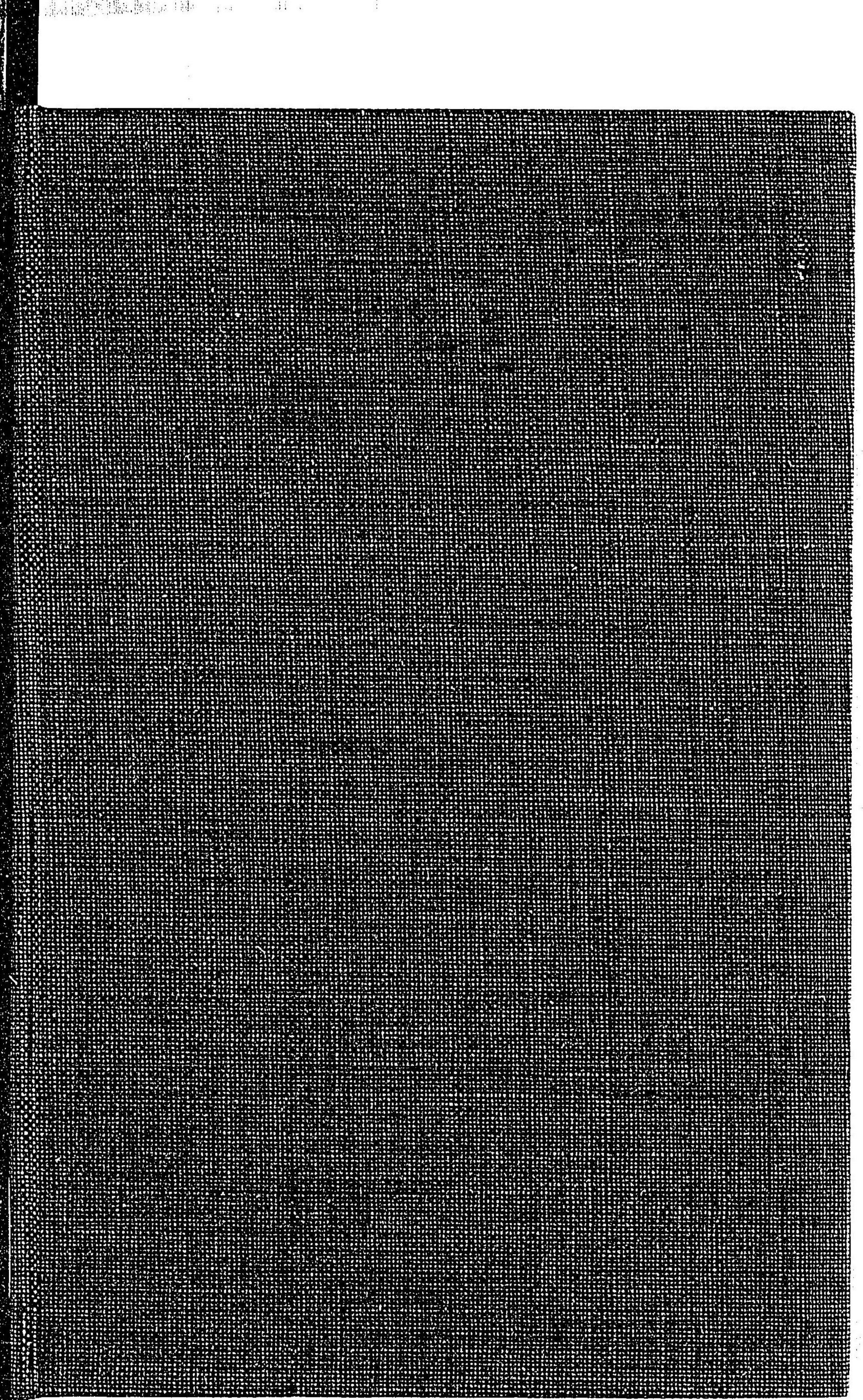
東京市神田區一ツ橋通町七番地

發賣所(電話本局三三三番)有斐閣









90

199

Ⓜ

035384-000-2

90-199

日本手形法

岡野 敬次郎 / 著

M38

BBO-0569



